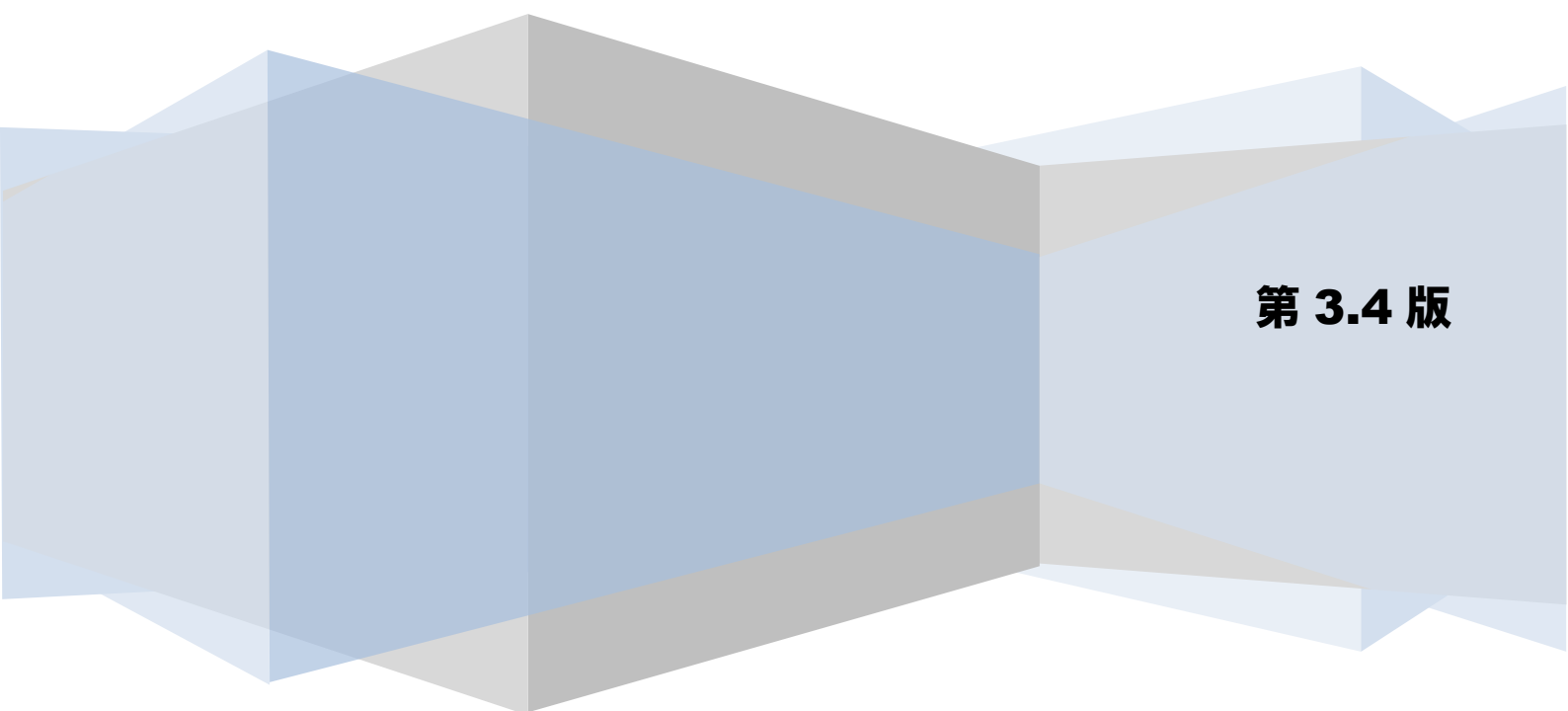


一括請求 Assist[®] Ver.3

操作マニュアル

CSV フォーマット設定編



第 3.4 版

目次

はじめに	4
1 CSV フォーマット設定について	5
1.1 CSV フォーマット設定の概要	5
1.2 CSV フォーマット設定の流れ	7
1.3 CSV フォーマットについて	9
2 読込 CSV フォーマットの設定	11
2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成	11
2.1.1 読込 CSV フォーマットを新規作成する	11
2.2 読込 CSV フォーマットの修正	14
2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する	14
2.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット	16
2.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット	20
2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定	24
2.3.1 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する	24
2.4 読込 CSV フォーマットの削除	26
2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する	26
2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力	28
2.5.1 読込 CSV フォーマットファイルを出力する	28
2.6 読込 CSV フォーマットのファイル読込	31
2.6.1 読込 CSV フォーマットファイルを読込む	31
3 出力 CSV フォーマットの設定	34
3.1 出力 CSV フォーマットの新規作成	34
3.1.1 出力 CSV フォーマットを新規作成する	34
3.2 出力 CSV フォーマットの修正	37

3.2.1 出力 CSV フォーマットを修正する	37
3.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット.....	39
3.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット.....	44
3.3 出力 CSV フォーマットの利用フォーマットの設定	48
3.3.1 出力 CSV フォーマットの利用フォーマットを設定する.....	48
3.4 出力 CSV フォーマットの削除	50
3.4.1 出力 CSV フォーマットを削除する	50
3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力.....	52
3.5.1 出力 CSV フォーマットファイルを出力する	52
3.6 出力 CSV フォーマットのファイル読込.....	55
3.6.1 出力 CSV フォーマットファイルを読込む	55
4 補足事項(読込 CSV フォーマット設定)	58
4.1 読込 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有／ヘッダレコード無)について	58
4.1.1 ヘッダレコード有フォーマット.....	58
4.1.2 ヘッダレコード無フォーマット.....	59
4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について	60
4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について.....	61
4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について.....	62
4.5 読込 CSV フォーマットのタイトル行有無について.....	69
4.5.1 タイトル行有	69
4.5.2 タイトル行無	70
5 補足事項(出力 CSV フォーマット設定)	71
5.1 出力 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有／ヘッダレコード無)について	71
5.1.1 ヘッダレコード有フォーマット.....	71
5.1.2 ヘッダレコード無フォーマット.....	72

5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)／CSV 項目数について.....	73
5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について.....	74
5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について.....	75
5.5 出力 CSV フォーマットのタイトル行有無について.....	80
5.5.1 タイトル行有	80
5.5.2 タイトル行無	81

はじめに

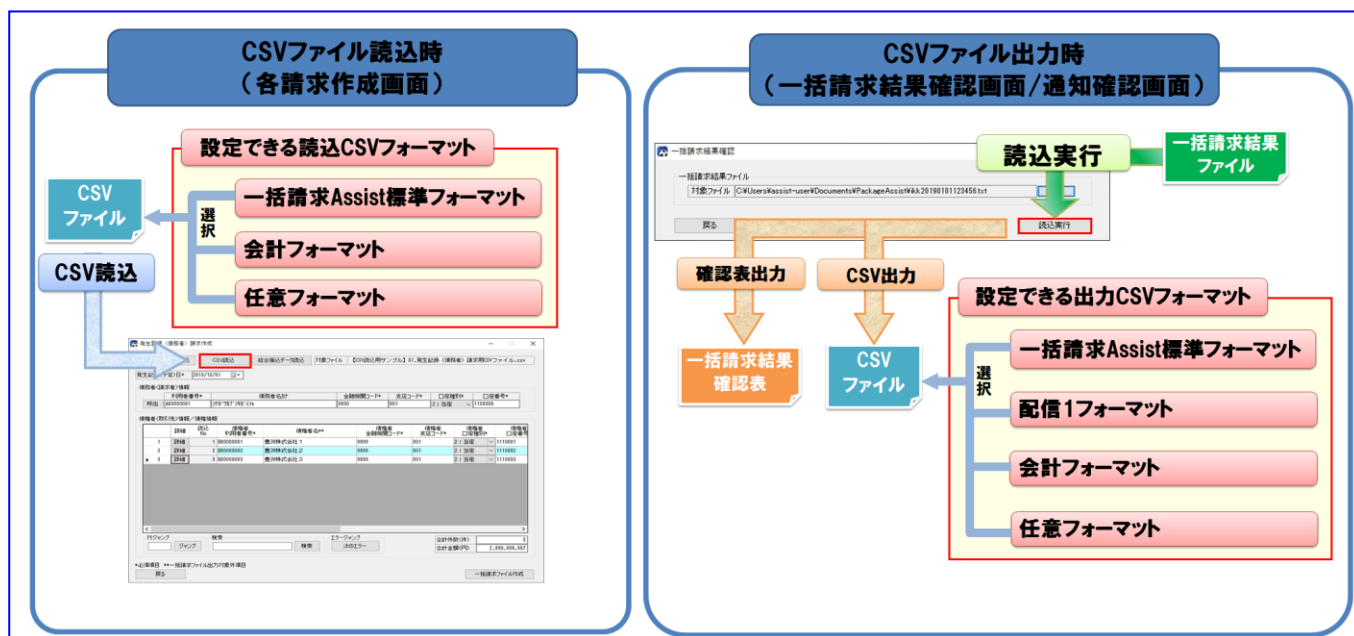
本書では、CSV フォーマットの設定方法を説明します。

1 CSV フォーマット設定について

1.1 CSV フォーマット設定の概要

本ソフトは、一括請求ファイルを作成する際に、事前に設定した CSV フォーマットで CSV ファイルを読込むことができます。また、一括請求結果ファイル、通知ファイルの読込みを行った際に、事前に設定した CSV フォーマットで CSV ファイルを出力することができます。

設定できるフォーマットは、一括請求 Assist 標準フォーマット（本ソフト標準のフォーマット）、配信 1 フォーマット（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2 版の配信 1 をそのまま CSV 出力するフォーマット）、会計フォーマット（特定の会計ソフトと連携可能なフォーマット）、任意フォーマット（項目の順序を自由に設定したフォーマット）となります。



設定できるCSVフォーマット

一括請求Assist標準フォーマット

本ソフト標準のフォーマット(初期設定)です。本ソフトで指定した形式でCSVファイルの読み込み、出力ができます。
「お客様にて特定のCSVファイルをお持ちで無い場合」等にご使用ください。

本ソフト指定フォーマット (ヘッダレコード有フォーマット)

CSVファイル(本ソフト指定フォーマット)

ヘッダ情報
データ情報
データ情報
データ情報

配信1フォーマット

本ソフト標準のフォーマットです。でんさいネット標準フォーマット(固定長テキスト形式)1.2版の配信1の形式でCSVファイルの出力ができます。
「お使いの会計ソフトが配信1形式CSVに対応する場合」等にご使用ください。

本ソフト指定フォーマット

CSVファイル(本ソフト指定フォーマット)

ヘッダ情報
データ情報
データ情報
データ情報
データ情報
トレーラ情報
エンド情報

会計フォーマット

本ソフト標準のフォーマットです。特定の会計ソフトと連携できる形式でCSVファイルの読み込み、出力ができます。
「お使いの会計ソフトが本ソフト標準の場合」等にご使用ください。

本ソフト指定フォーマット (ヘッダレコード無フォーマット)

CSVファイル(本ソフト指定フォーマット)

ヘッダ情報	データ情報
ヘッダ情報	データ情報
ヘッダ情報	データ情報

任意フォーマット

お客様にて自由に設定可能なフォーマットです。お客様のCSVファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付け(紐付け)、お客様指定のCSVファイルの読み込み、出力ができます。
「お使いの会計ソフトのCSVファイルがある場合」等にご使用ください。

選択可能

ヘッダレコード有フォーマット

CSVファイル(ヘッダレコード有フォーマット)

ヘッダ情報	ヘッダレコード
データ情報	データレコード
データ情報	データレコード
データ情報	データレコード

ヘッダレコード無フォーマット

CSVファイル(ヘッダレコード無フォーマット)

ヘッダ情報	データ情報	データレコード
ヘッダ情報	データ情報	データレコード
ヘッダ情報	データ情報	データレコード

■各請求作成画面

ヘッダ情報

ヘッダ情報と画面項目を対応付け(紐付け)

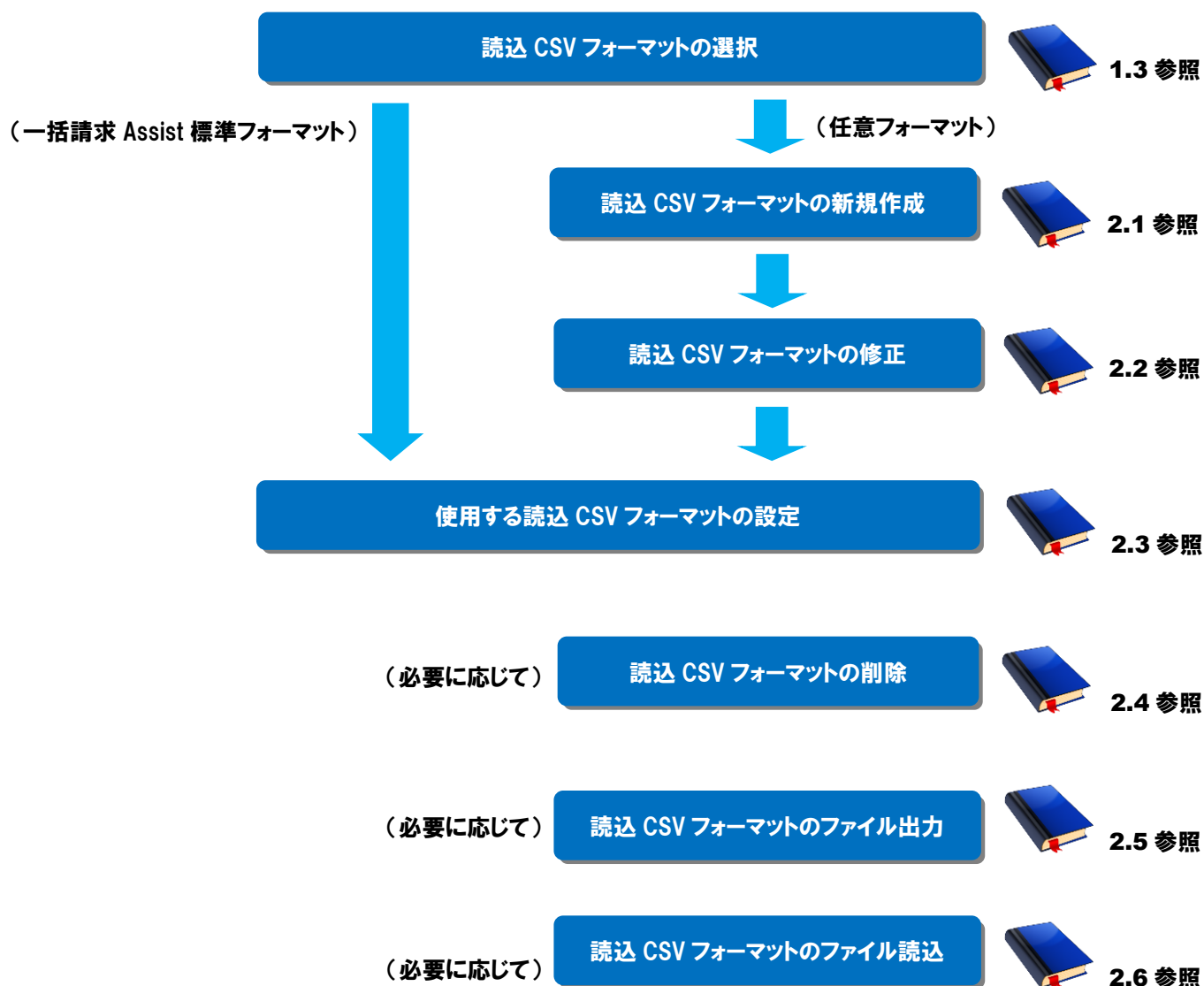
データ情報

データ情報と画面項目を対応付け(紐付け)

※CSV読み込みの場合

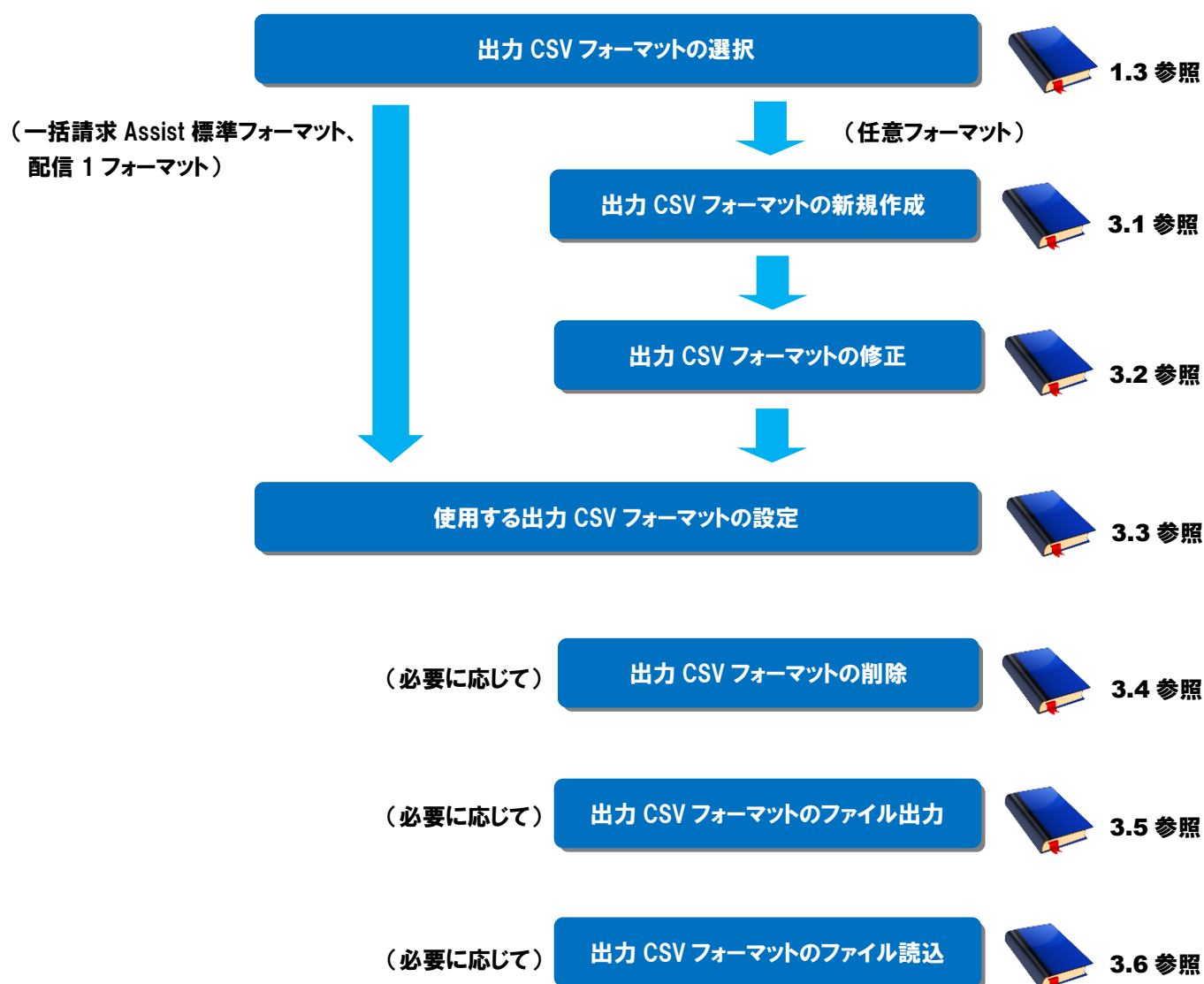
1.2 CSV フォーマット設定の流れ

📌 読込 CSV フォーマットの場合



会計フォーマットについては、各会計フォーマットの連携編をご参照ください。

 出力 CSV フォーマットの場合



会計フォーマットについては、各会計フォーマットの連携編をご参照ください。

1.3 CSV フォーマットについて

本ソフトで設定できる CSV フォーマットの一覧を以下に示します。

（一括請求 Assist 標準フォーマット、配信 1 フォーマットの内容については基本操作編「**6.3 CSV ファイルについて**」をご参照ください。）

読込 CSV フォーマット

No	フォーマット	概要	使用画面
1	一括請求Assist標準フォーマット	本ソフト標準のフォーマット（初期設定）です。本ソフトで指定した形式で CSV ファイルの読み込みができます。 「お客様にて特定の CSV ファイルをお持ちで無い場合」等にご使用ください。	発生記録（債務者）請求作成画面
			発生記録（債権者）請求作成画面
			譲渡記録請求作成画面
			譲渡記録請求作成（複数取引先）画面
2	会計フォーマット	会計ソフトに対応したフォーマットです。使用方法については連携編をご参照ください。	発生記録（債務者）請求作成画面
3	任意フォーマット	お客様にて自由に設定可能なフォーマットです。お客様の CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付け（紐付け）、お客様指定の CSV ファイルの読み込みができます。 「お使いの会計ソフトの CSV ファイルがある場合」等にご使用ください。	発生記録（債務者）請求作成画面
			発生記録（債権者）請求作成画面
			譲渡記録請求作成画面
			譲渡記録請求作成（複数取引先）画面

 出力 CSV フォーマット

No	フォーマット	概要	使用画面
1	一括請求Assist標準フォーマット	本ソフト標準のフォーマット（初期設定）です。本ソフトで指定した形式でCSVファイルの出力ができます。 「お客様にて特定のCSVファイルをお持ちで無い場合」等にご使用ください。	一括請求結果確認画面
			通知確認画面
2	配信1フォーマット	でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1をそのままの項目順でCSV出力するフォーマットです。「お使いの会計ソフトが配信1フォーマットのCSVファイルに対応している場合」等にご使用ください。	一括請求結果確認画面
			通知確認画面
3	会計フォーマット	会計ソフトに対応したフォーマットです。使用方法については連携編をご参照ください。	通知確認画面
4	任意フォーマット	お客様にて自由に設定可能なフォーマットです。お客様のCSVファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル／通知ファイルを対応付け（紐付け）、お客様指定のCSVファイルの出力ができます。 「お使いの会計ソフトのCSVファイルがある場合」等にご使用ください。	一括請求結果確認画面
			通知確認画面

2 読込 CSV フォーマットの設定

2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成

任意フォーマットで読込 CSV フォーマットを新規作成する方法を説明します。

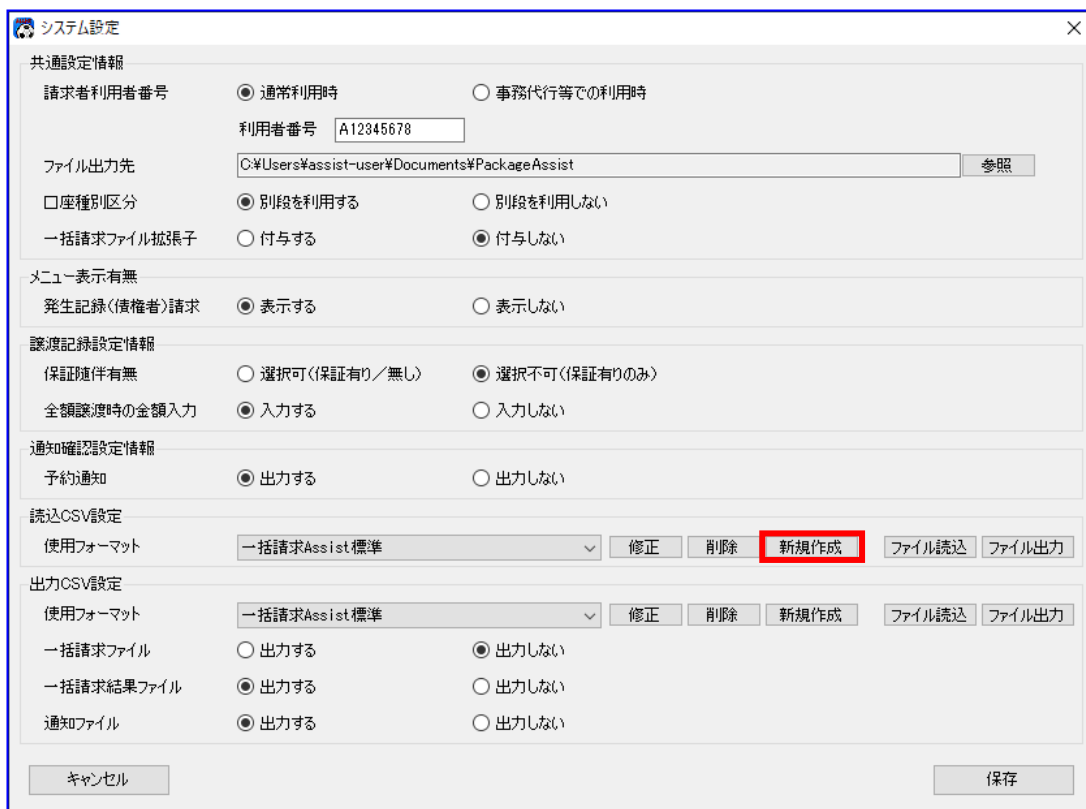
操作手順

2.1.1 読込 CSV フォーマット を新規作成する

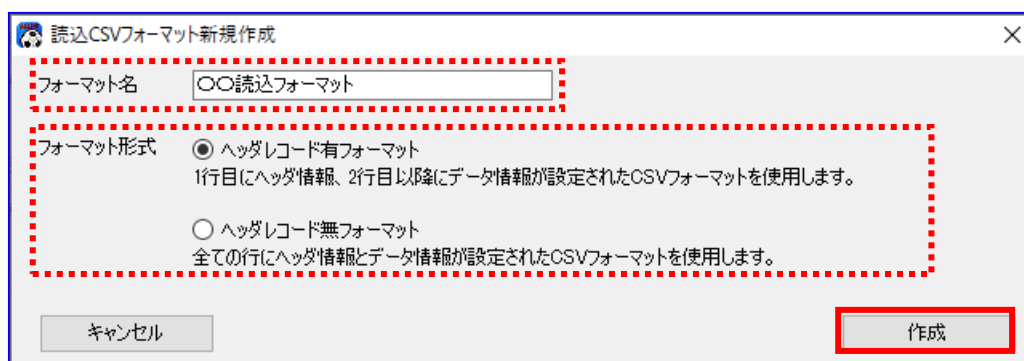
操作方法

2.1.1 読込 CSV フォーマットを新規作成する

 システム設定画面を開き、「読込 CSV 設定」の[新規作成]を押下します。



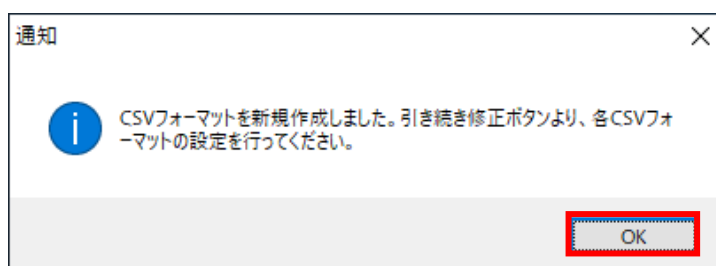
- ✚ [新規作成]を押下すると、読込 CSV フォーマット新規作成画面が表示されます。
フォーマット名を入力し、フォーマット形式を選択後、[作成]を押下します。
(フォーマット形式の詳細については「**4.1 読込 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有／ヘッダレコード無)について**」をご参照ください。)



ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

- ✚ 正常に新規作成が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。



- ✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。
(修正については「**2.2 読込 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット ☒ 読込フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル ☐ 出力する ☒ 出力しない

一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行う必要があります。
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。

2.2 読込 CSV フォーマットの修正

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを修正する方法を説明します。

操作手順

2.2.1 読込 CSV フォーマット を修正する

操作方法

2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する

- システム設定画面を開き、修正する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[修正]を押下します。
一括請求 Assist 標準フォーマットは修正できません。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時

利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット ○○読込フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求ファイル ☐ 出力する ☒ 出力しない

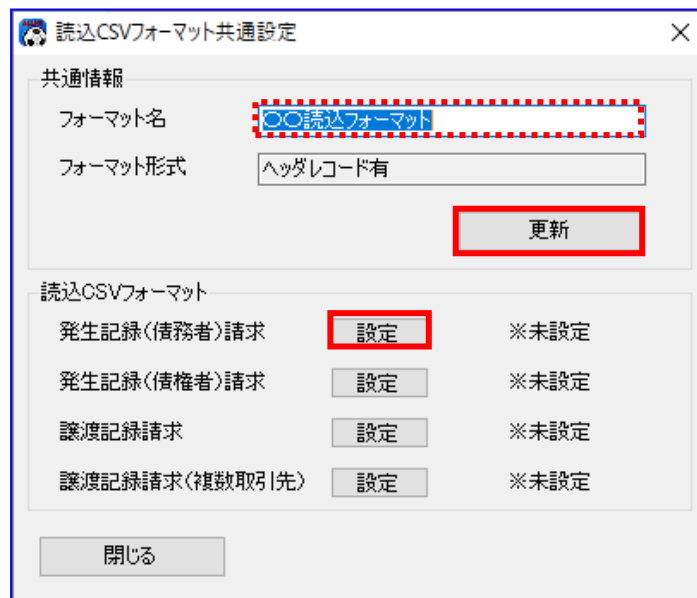
一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存

- ✚ [修正]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面が開きます。
フォーマット名を修正する場合は、フォーマット名を変更後、[更新]を押下します。
CSV フォーマットの設定を行う場合は、対象フォーマットの [設定]を押下します。

[設定]を押下すると、読込 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。
フォーマット形式が「ヘッダレコード有」の場合は「**2.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット**」を、「ヘッダレコード無」の場合は「**2.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット**」をご参照ください。



読込CSVフォーマット		
発生記録(債務者)請求	設定	※未設定
発生記録(債権者)請求	設定	※未設定
譲渡記録請求	設定	※未設定
譲渡記録請求(複数取引先)	設定	※未設定



CSV フォーマットの設定を行うと、画面より「※未設定」の表示が消えます。
各対象フォーマットの設定有無の状態については、「※未設定」の表示有無にてご確認ください。

2.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット



読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。

読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名

〇〇読込フォーマット

フォーマット形式

ヘッダレコード有

対象ファイル

発生記録(債務者)請求

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。

口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。

利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する

☐ 自動設定する
☒ 自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する

☐ 自動設定する
☒ 自動設定しない

読込CSV項目設定

ヘッダレコード項目

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
種別コード		
発生記録(予定)日		
債務者情報_利用者番号		
債務者情報_債務者名		
債務者情報_金融機関コード		
債務者情報_支店コード		
債務者情報_口座種別		
債務者情報_口座番号		
債務者情報_利用者ID		

データレコード項目

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		
債権者情報_支店コード		
債権者情報_口座種別		
債権者情報_口座番号		
債権者情報_利用者ID		
債権金額(円)		
支払期日		
譲渡制限有無 *1		
依頼人Ref.No.		

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません。)

検索

キャンセル

保存

① 利用者情報の自動設定有無

② ヘッダレコード項目

③ データレコード項目

※上記サンプル画面は「読込 CSV フォーマット詳細設定画面／発生記録（債務者）請求」の画面です。

16

① 利用者情報の自動設定有無

利用者情報の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者情報の自動設定有無の詳細については「**4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について**」をご参照ください。)

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する

☐ 自動設定する

☒ 自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する

☐ 自動設定する

☒ 自動設定しない



利用者情報の自動設定とは、読込む CSV ファイルに、一括請求ファイル作成に必要な情報である利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が不足している場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する(上書き補完する)機能です。

② ヘッダレコード項目

ヘッダレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号(読込位置)または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合は、項目番号(読込位置)は設定できません。

(項目番号(読込位置)の詳細については「**4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について**」、固定値の詳細については「**4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。)

ヘッダレコード項目

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

	項目名	項目番号	固定値
	種別コード	1	
	発生記録(予定)日	2	
	債務者情報_利用者番号	3	
	債務者情報_債務者名か	4	
	債務者情報_金融機関コード	5	
	債務者情報_支店コード	6	
	債務者情報_口座種別		
	債務者情報_口座番号		
	債務者情報_利用者ID		

③ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合は、項目番号（読込位置）は設定できません。

（項目番号（読込位置）の詳細については「**4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について**」、固定値の詳細については「**4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

データレコード項目		
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。		
項目名	項目番号	固定値
債権者情報_利用者番号	1	
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード	2	
債権者情報_支店コード		
債権者情報_口座種別	3	
債権者情報_口座番号		
債権者情報_利用者ID		
債権金額 (円)	4	
支払期日	5	
譲渡制限有無 ※1		1: 有
依頼人Ref.No.	6	

- 設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。
- 項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、各請求作成画面にて CSV 読込みを行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: フォーマット形式:

対象ファイル:

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。
 口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。
 利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

読込CSV項目設定

ヘッダレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
種別コード	1	
発生記録(予定)日	2	
債務者情報_利用者番号	3	
債務者情報_債務者名	4	
債務者情報_金融機関コード	5	
債務者情報_支店コード	6	
債務者情報_口座種別		
債務者情報_口座番号		
債務者情報_利用者ID		

データレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
債権者情報_利用者番号	1	
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード	2	
債権者情報_支店コード		
債権者情報_口座種別	3	
債権者情報_口座番号		
債権者情報_利用者ID		
債権金額(円)	4	
支払期日	5	
譲渡制限有無 *1		1:有
依頼人Ref.No.	6	

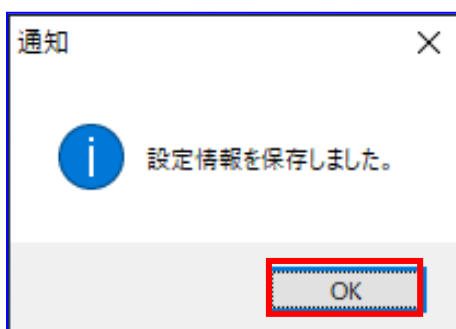
*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません。)

検索 エラージャンプ

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。
- 以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。)



2.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット



読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。

読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: ○○読込フォーマット フォーマット形式: ヘッダレコード無

対象ファイル: 発生記録(債務者)請求

① 利用者情報の自動設定有無

利用者情報の自動設定有無
CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

債権者情報を取り先管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

② タイトル行有無

タイトル行有無
読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

☐ タイトル行有(2行目から読込) ☒ タイトル行無(1行目から読込)

③ データレコード項目

読込CSV項目設定
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
発生記録(予定)日 *1		
債務者情報_利用者番号 *1		
債務者情報_債務者名 *1		
債務者情報_金融機関コード *1		
債務者情報_支店コード *1		
債務者情報_口座種別 *1		
債務者情報_口座番号 *1		
債務者情報_利用者ID *1		
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		

*1 請求作成画面ヘッダ情報(読込CSVの全レコード、同一の値を設定してください。)

*2 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません。)

検索 エラージャンプ 保存

※上記サンプル画面は「読込 CSV フォーマット詳細設定画面／発生記録（債務者）請求」の画面です。

① 利用者情報の自動設定有無

利用者情報の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者情報の自動設定有無の詳細については「**4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について**」をご参照ください。)

利用者情報の自動設定有無	
CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。 口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。 利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。	
債務者情報を社内口座管理より自動設定する	☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない
債権者情報を取引先管理より自動設定する	☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない



利用者情報の自動設定とは、読込む CSV ファイルに、一括請求ファイル作成に必要な情報である利用者情報（利用者番号、利用者名、口座情報）が不足している場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する（上書き補完する）機能です。

② タイトル行有無

タイトル行有無をラジオボタンより選択してください。

(タイトル行有無の詳細については「**4.5 読込 CSV フォーマットのタイトル行有無について**」をご参照ください。)

タイトル行有無	
読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。	
☐ タイトル行有(2行目から読込)	☒ タイトル行無(1行目から読込)



ヘッダレコード無フォーマットの場合は、タイトル行有無を選択することができます。

「タイトル行有」を選択すると、読込 CSV ファイルの 2 行目から読込を開始します。
「タイトル行無」を選択すると、読込 CSV ファイルの 1 行目から読込を開始します。

③ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合は、項目番号（読込位置）は設定できません。

（項目番号（読込位置）の詳細については「**4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について**」、固定値の詳細については「**4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。		
項目名	項目番号	固定値
発生記録(予定)日 *1	6	
債務者情報_利用者番号 *1	5	
債務者情報_債務者名 *1	4	
債務者情報_金融機関コード *1	3	
債務者情報_支店コード *1		
債務者情報_口座種別 *1	2	
債務者情報_口座番号 *1		
債務者情報_利用者ID *1		
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		

- 設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。
- 項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、各請求作成画面にて CSV 読込を行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: ☐ 読込フォーマット フォーマット形式:

対象ファイル:

利用者情報の自動設定有無

CSV読込の際、口座情報もしくは利用者IDを条件に利用者情報を自動設定することができます。
口座情報を指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名)が自動設定されます。
利用者IDを指定した場合は、利用者情報(利用者番号、利用者名、口座情報)が自動設定されます。

債務者情報を社内口座管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

債権者情報を取引先管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

タイトル行有無

読込CSVの1行目にタイトル行が設定されている場合、2行目から読込を開始することができます。

☐ タイトル行有(2行目から読込) ☒ タイトル行無(1行目から読込)

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
発生記録(予定)日 *1	6	
債務者情報_利用者番号 *1	5	
債務者情報_債務者名 *1	4	
債務者情報_金融機関コード *1	3	
債務者情報_支店コード *1		
債務者情報_口座種別 *1	2	
債務者情報_口座番号 *1		
債務者情報_利用者ID *1		
債権者情報_利用者番号		
債権者情報_債権者名		
債権者情報_金融機関コード		

*1 請求作成画面ヘッダ情報(読込CSVの全レコード、同一の値を設定してください。)

*2 固定値を設定した場合、CSV読込の際、請求作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません。)

検索: 検索 エラージャンプ 次のエラー

キャンセル **保存**

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。
- 以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定について**」をご参照ください。)

通知

 設定情報を保存しました。

OK

2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定

読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する方法を説明します。

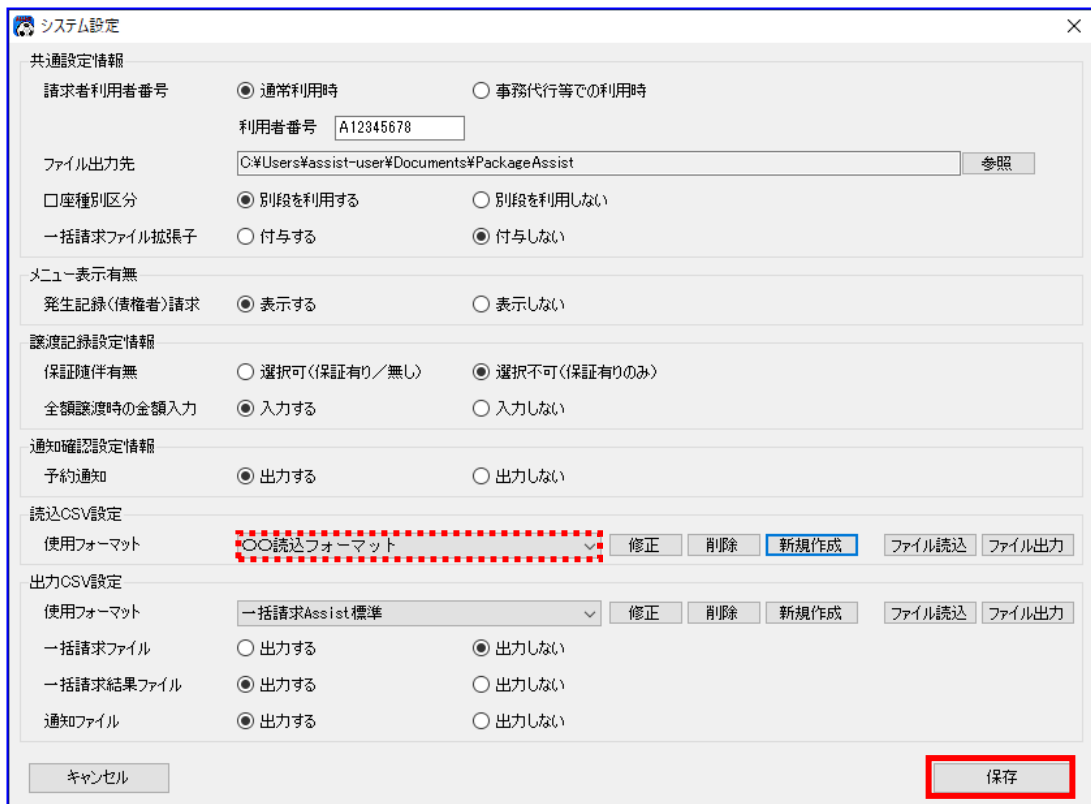
操作手順

2.3.1 読込 CSV フォーマット の使用フォーマット を設定する

操作方法

2.3.1 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する

 システム設定画面を開き、使用フォーマットをプルダウンより選択し、[保存]を押下します。



システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 〇〇読込フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

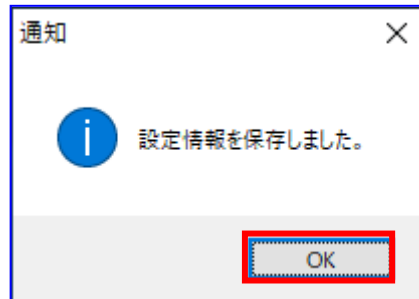
一括請求ファイル ☐ 出力する ☒ 出力しない

一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存

-
- ✚ [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。
以上で使用フォーマットの設定が完了になります。



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成した際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、新規作成したフォーマット名が表示されていますが、本手順にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。

2.4 読込 CSV フォーマットの削除

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを削除する方法を説明します。

操作手順

2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する

操作方法

2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する

- 削除する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[削除]を押下します。
一括請求 Assist 標準フォーマット、会計フォーマットは削除できません。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号
ファイル出力先 参照
☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない
一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証証連伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

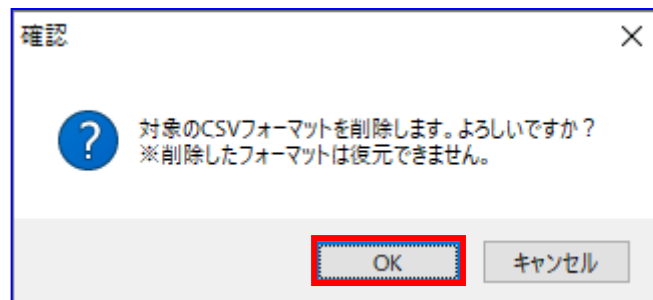
読込CSV設定

使用フォーマット ☒ 読込CSVフォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット
一括請求ファイル ☐ 出力する ☒ 出力しない
一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない
通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

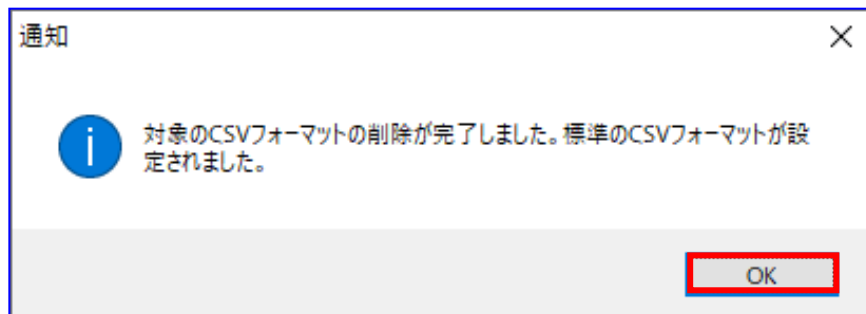
-
- ✚ [削除]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



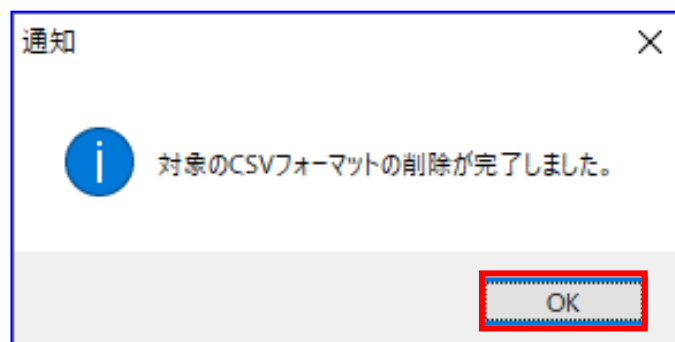
削除前にバックアップを取得するには、「**2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力**」をご参照ください。

- ✚ 正常に削除が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。
使用フォーマットの設定により、表示されるダイアログが異なります。

- ・使用フォーマットに設定した読込 CSV フォーマットを削除した場合



- ・使用フォーマットに設定していない読込 CSV フォーマットを削除した場合



2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットをファイル出力する方法を説明します。

出力した CSV フォーマットファイルは、バックアップ用または他の PC にインストールされた本ソフトでご利用頂けます。

(任意フォーマットを含めた設定情報を一括移行する場合は、業務編「**8 設定情報の一括移行について**」をご参照ください。)

操作手順

2.5.1 読込 CSV フォーマット ファイルを出力する

操作方法

2.5.1 読込 CSV フォーマットファイルを出力する

- システム設定画面を開き、出力する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[ファイル出力]を押下します。
- 一括請求 Assist 標準フォーマット、会計フォーマットは出力できません。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 〇〇読込フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

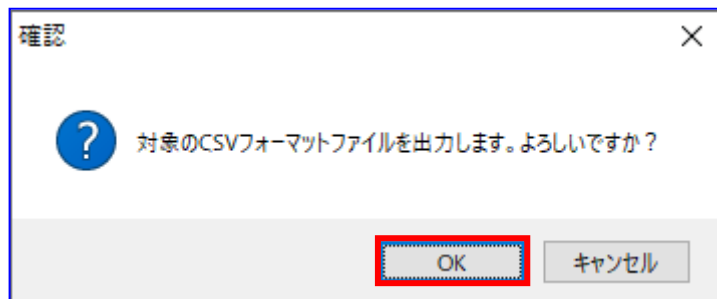
一括請求ファイル ☐ 出力する ☒ 出力しない

一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

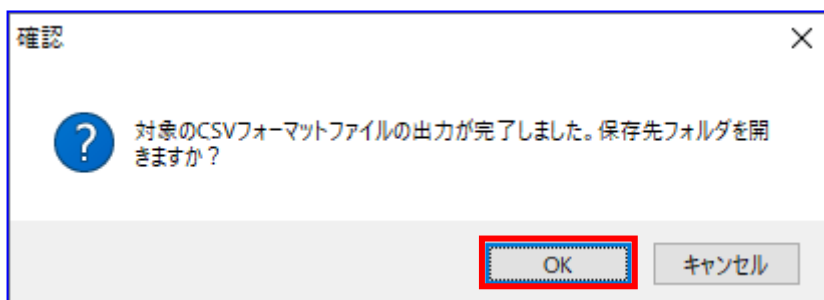
通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存

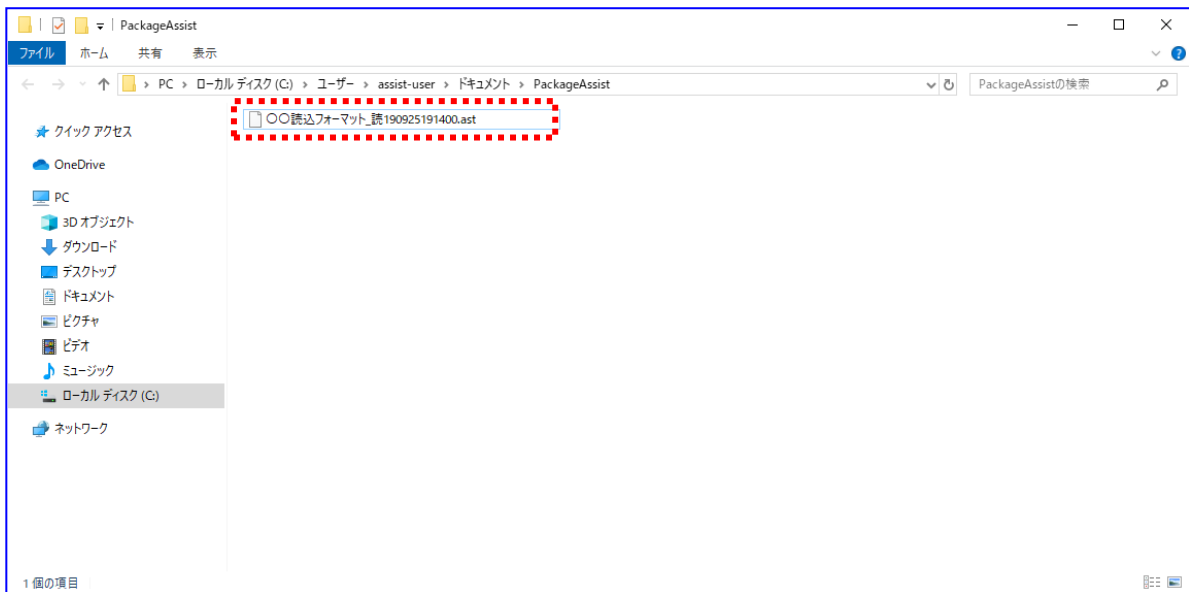
-
- ✚ [ファイル出力]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



- ✚ 正常に出力が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
出力した CSV フォーマットファイルの保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



 表示された保存先フォルダに、ファイルが作成されていることをご確認ください。



CSV フォーマットファイルの出力時に作成されるファイルは下記の通りです。

CSV フォーマットファイル：フォーマット名_読 YYMMDDhhmmss.ast



出力したファイルは、CSV フォーマット情報のバックアップ用としてご利用ください。
出力したファイルを読込むには、「**2.6 読込 CSV フォーマットのファイル読込**」
をご参照ください。

2.6 読込 CSV フォーマットのファイル読込

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットのファイル読込を行う方法を説明します。

「2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力」にて出力した CSV フォーマットファイルを本手順にて読込むことで、任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを追加することができます。

操作手順

2.6.1 読込 CSV フォーマット ファイルを読込む

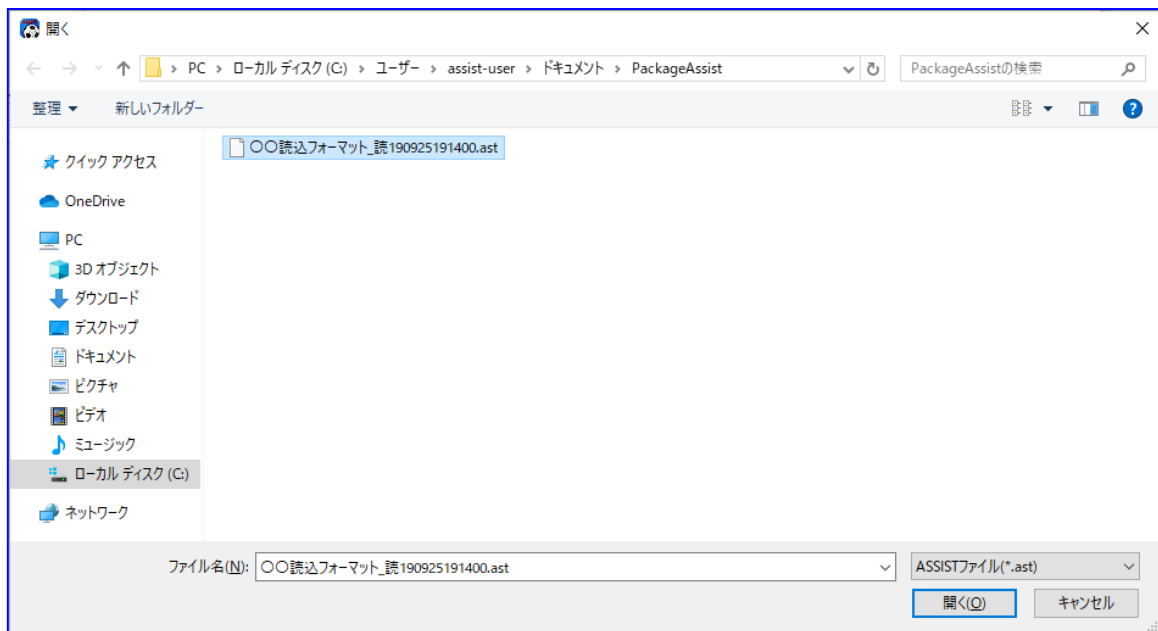
操作方法

2.6.1 読込 CSV フォーマットファイルを読込む

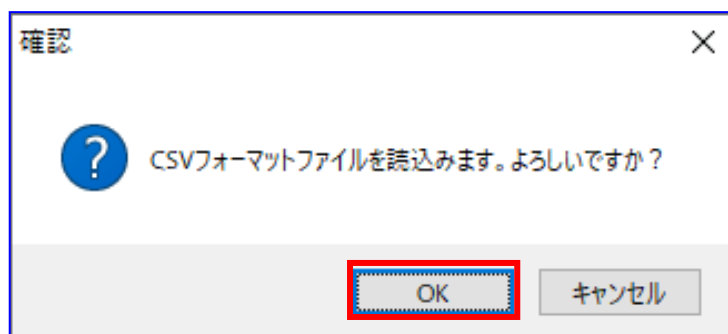
🔗 システム設定画面を開き、[ファイル読込]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読込CSV設定' (Import CSV Settings) section is expanded, showing the '使用フォーマット' (Use Format) dropdown set to '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard). The 'ファイル読込' (File Import) button is highlighted with a red box. Other buttons visible include '修正' (Modify), '削除' (Delete), '新規作成' (New), and 'ファイル出力' (File Output). The '出力CSV設定' (Output CSV Settings) section is also visible below.

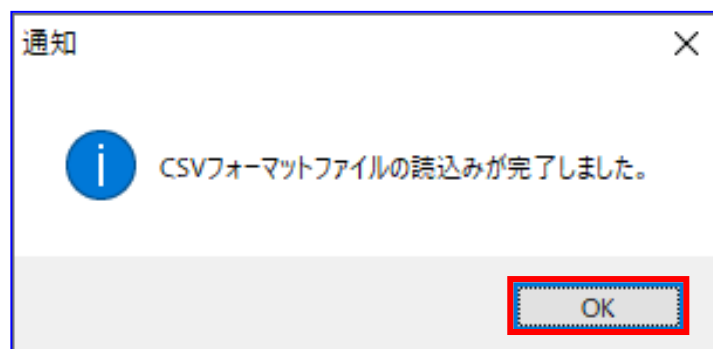
- ✚ [ファイル読込]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
- 「**2.5 読込 CSV フォーマットのファイル出力**」にて出力した対象ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ [開く]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
- よろしければ、[OK]を押下します。



- ✚ 正常に読込みが完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。





使用フォーマットに読込んだフォーマット名が追加されます。

(読込んだフォーマットを修正する場合は「**2.2 読込 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)



任意フォーマットの CSV フォーマットを読込んだ際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、読込んだフォーマット名が表示されていますが、システム設定画面にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。

使用フォーマットの設定については「**2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。

3 出力 CSV フォーマットの設定

3.1 出力 CSV フォーマットの新規作成

任意フォーマットで出力 CSV フォーマットを新規作成する方法を説明します。

操作手順

3.1.1 出力 CSV フォーマット を新規作成する

操作方法

3.1.1 出力 CSV フォーマットを新規作成する

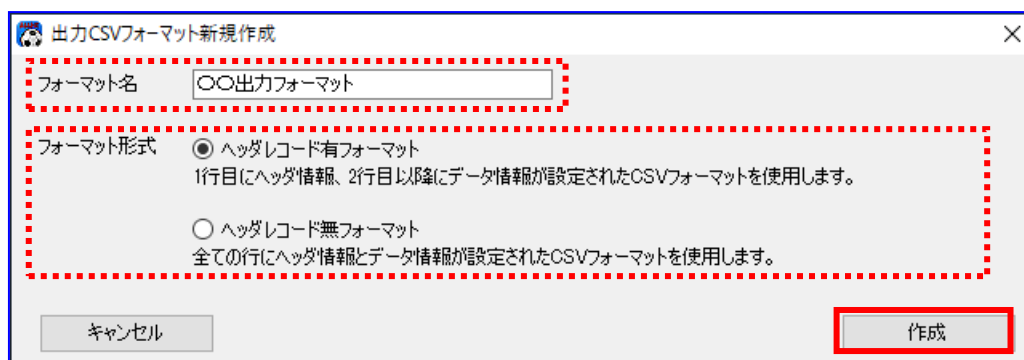
🌈 システム設定画面を開き、「出力 CSV 設定」の[新規作成]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) window. The '出力 CSV 設定' (Output CSV Settings) section is expanded, showing a list of CSV formats. The '一括請求Assist標準' (Batch Billing Assist Standard) format is selected. The '新規作成' (New) button is highlighted with a red box. Other buttons include '修正' (Edit), '削除' (Delete), 'ファイル読込' (Load File), and 'ファイル出力' (Export File).

設定項目	設定内容
共通設定情報	
請求者利用者番号	☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号	A12345678
ファイル出力先	C:\Users\assist-user\Documents\Package Assist 参照
座種別区分	☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない
一括請求ファイル拡張子	☐ 付与する ☒ 付与しない
メニュー表示有無	
発生記録(債権者)請求	☒ 表示する ☐ 表示しない
譲渡記録設定情報	
保証随伴有無	☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力	☒ 入力する ☐ 入力しない
通知確認設定情報	
予約通知	☒ 出力する ☐ 出力しない
読込CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力
出力CSV設定	
使用フォーマット	一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力
一括請求ファイル	☐ 出力する ☒ 出力しない
一括請求結果ファイル	☒ 出力する ☐ 出力しない
通知ファイル	☒ 出力する ☐ 出力しない
操作ボタン	キャンセル 保存

✚ [新規作成]を押下すると、出力 CSV フォーマット新規作成画面が表示されます。
フォーマット名を入力し、フォーマット形式を選択後、[作成]を押下します。

(フォーマット形式の詳細については「**5.1 出力 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有／ヘッダレコード無)**」をご参照ください。)



出力CSVフォーマット新規作成

フォーマット名

フォーマット形式

☒ ヘッダレコード有フォーマット
1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定されたCSVフォーマットを使用します。

☐ ヘッダレコード無フォーマット
全ての行にヘッダ情報とデータ情報が設定されたCSVフォーマットを使用します。

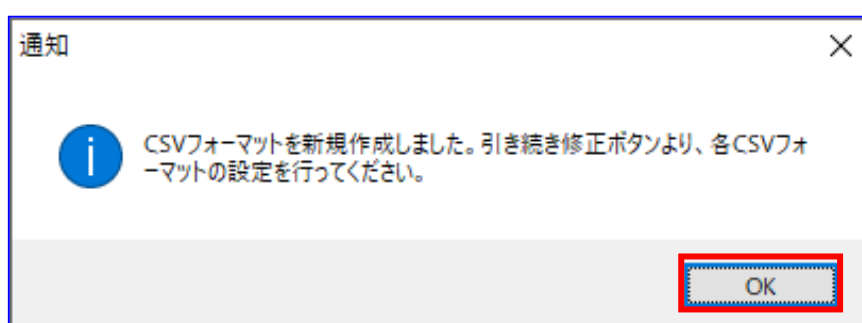
キャンセル 作成



ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを出力する場合に使用するフォーマットです。

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを出力する場合に使用するフォーマットです。

✚ 正常に新規作成が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。

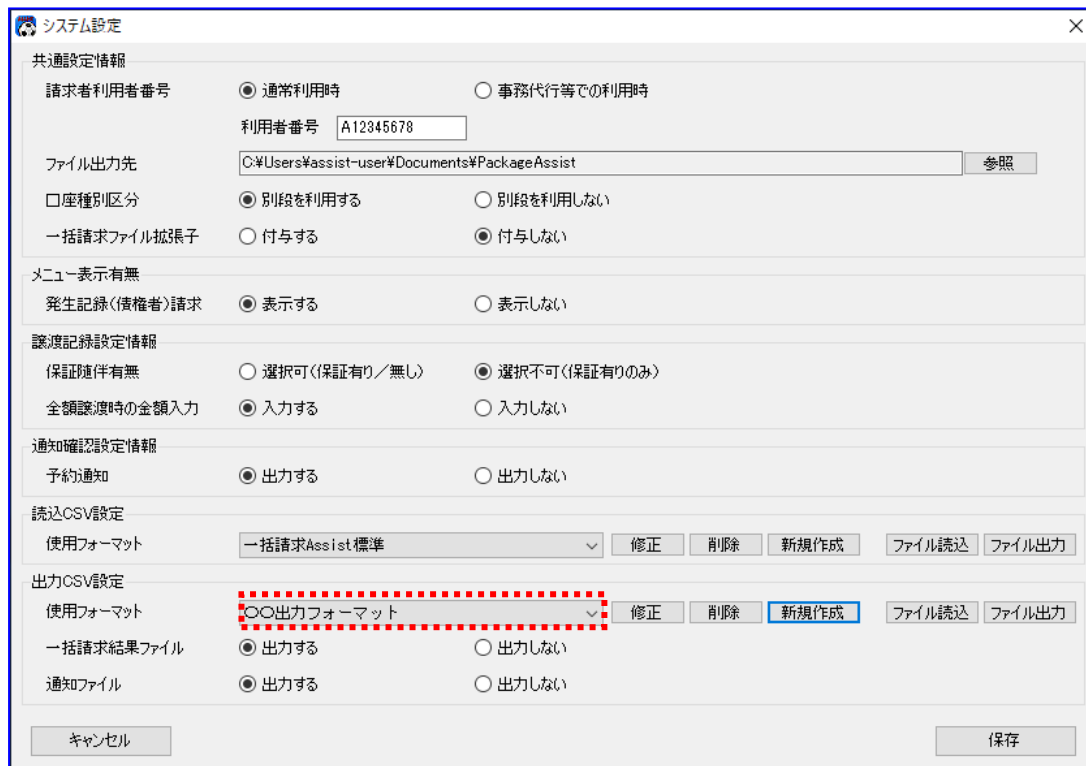


通知

i CSVフォーマットを新規作成しました。引き続き修正ボタンより、各CSVフォーマットの設定を行ってください。

OK

- ✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。
(修正については「**3.2 出力 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)



システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット 〇〇出力フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、出力 CSV ファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル/通知ファイルの項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行う必要があります。
引き続き[修正]を押下し、各 CSV フォーマットの設定を行ってください。

3.2 出力 CSV フォーマットの修正

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを修正する方法を説明します。

操作手順

3.2.1 出力 CSV フォーマット を修正する

操作方法

3.2.1 出力 CSV フォーマットを修正する

- システム設定画面を開き、修正する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[修正]を押下します。
一括請求 Assist 標準フォーマット、配信 1 フォーマットは修正できません。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

使用フォーマット ○○出力フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存

- ✚ [修正]を押下すると、出力 CSV フォーマット共通設定画面が開きます。
フォーマット名、出力形式を修正する場合は、フォーマット名、出力形式を変更後、[更新]を押下します。
出力形式は、「日付形式」と「金額形式」をそれぞれ選択することができます。
一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、日付形式または金額形式に該当する項目について、選択した形式で出力ファイルに設定されます。

CSV フォーマットの設定を行う場合は、対象フォーマットの[設定]を押下します。

[設定]を押下すると、出力 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。
フォーマット形式が「ヘッダレコード有」の場合は「**3.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット**」を、「ヘッダレコード無」の場合は「**3.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット**」をご参照ください。

出力CSVフォーマット共通設定

共通情報

フォーマット名 〇〇出力フォーマット

フォーマット形式 ヘッダレコード有

出力形式

日付形式 ☒ YYYYMMDD ☐ YYYY/MM/DD ☐ YYYY/M/D

金額形式 ☐ カンマ有 ☒ カンマ無

更新

出力CSVフォーマット

一括請求結果	設定	※未設定
通知	設定	※未設定

閉じる



CSV フォーマットの設定を行うと、画面より「※未設定」の表示が消えます。
各対象フォーマットの設定有無の状態については、「※未設定」の表示有無にてご確認ください。

3.2.1.1 ヘッダレコード有フォーマット

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。
出力 CSV ファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル／通知ファイルの項目を対応付ける（紐付ける）ための詳細設定を行います。

※上記サンプル画面は「出力 CSV フォーマット詳細設定画面／一括請求結果」の画面です。

① CSV 項目数

CSV 項目数を設定してください。

(CSV 項目数の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)／CSV 項目数について**」をご参照ください。)

CSV項目数 100

② 利用者 ID の自動設定有無

利用者 ID の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者 ID の自動設定有無の詳細については「**5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について**」をご参照ください。)

利用者IDの自動設定有無	
CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。	
通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する	☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない
義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する	☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない



利用者 ID の自動設定とは、一括請求結果ファイルや通知ファイルには含まれない情報である利用者 ID を、出力する CSV ファイルに設定したい場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する機能です。

③ ヘッダレコード項目

ヘッダレコード項目の各項目名を確認し、出力 CSV ファイルの項目番号（出力位置）を設定してください。なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

(項目番号（出力位置）の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。)

ヘッダレコード項目 各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。		
項目名	項目番号	固定値
種別コード	1	
通知作成日	2	
通知先情報_利用者番号	3	
通知先情報_通知先名か	4	
通知先情報_金融機関コード	5	
通知先情報_金融機関名か	6	
通知先情報_支店コード	7	
通知先情報_支店名か		
通知先情報_口座種別		
通知先情報_口座番号		



項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。CSV 項目数が、項目番号（出力位置）の最大値に満たない場合は、CSV 項目数までカンマを付加して出力します。

④ ヘッダレコード項目(任意項目)

ヘッダレコード項目（任意項目）の項目名、項目番号（出力位置）、固定値を設定してください。

なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（固定値の詳細については「**5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

⑤ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、出力 CSV ファイルの項目番号（出力位置）を設定してください。

なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（項目番号（出力位置）の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。）

データレコード項目
各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
データレコード区分	1	
義務者情報_義務者名	2	
義務者情報_金融機関コード	3	
義務者情報_金融機関名	4	
義務者情報_支店コード	5	
義務者情報_支店名	6	
義務者情報_口座種別	7	
義務者情報_口座番号		
義務者情報_利用者ID		
権利者情報_権利者名		



項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。
CSV 項目数が、項目番号（出力位置）の最大値に満たない場合は、CSV 項目数までカンマを付加して出力します。

⑥ データレコード項目(任意項目)

データレコード項目（任意項目）の項目名、項目番号（出力位置）、固定値を設定してください。

なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（固定値の詳細については「**5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

出力CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名

〇〇出力フォーマット

フォーマット形式

ヘッダレコード有

対象ファイル

一括請求結果

CSV項目数

100

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する

☐ 自動設定する
☒ 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する

☐ 自動設定する
☒ 自動設定しない

出力CSV項目設定

ヘッダレコード項目

各項目の項目番号<出力位置>を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
種別コード	1	
通知作成日	2	
通知先情報_利用者番号	3	
通知先情報_通知先名か	4	
通知先情報_金融機関コード	5	
通知先情報_金融機関名か	6	
通知先情報_支店コード	7	
通知先情報_支店名か		
通知先情報_口座種別		
通知先情報_口座番号		

データレコード項目

各項目の項目番号<出力位置>を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
データレコード区分	1	
義務者情報_義務者名	2	
義務者情報_金融機関コード	3	
義務者情報_金融機関名か	4	
義務者情報_支店コード	5	
義務者情報_支店名か	6	
義務者情報_口座種別	7	
義務者情報_口座番号		
義務者情報_利用者ID		
権利者情報_権利者名		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

検索

検索

エラージャンプ

次のエラー

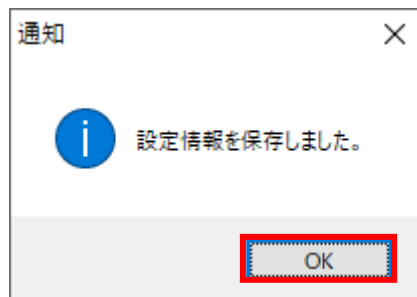
キャンセル

保存

 [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。
以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

（使用フォーマットの設定については「**3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。）



3.2.1.2 ヘッダレコード無フォーマット

- 出力 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。
出力 CSV ファイルの項目と本ソフトで読込む一括請求結果ファイル／通知ファイルの項目を対応付ける（紐付ける）ための詳細設定を行います。

The screenshot shows the 'Output CSV Format Detailed Setting' dialog box. It contains several sections with settings for CSV output. Five red callout boxes with white text point to specific areas:

- ① CSV 項目数: Points to the 'CSV項目数' field in the 'Format Information' section.
- ② 利用者 ID の自動設定有無: Points to the 'Automatic setting of user ID' section, specifically the 'Automatic setting' radio button.
- ③ タイトル行有無: Points to the 'Title row' section, specifically the 'Set' radio button.
- ④ データレコード項目: Points to the 'Data record item' table, specifically the '通知作成日 *1' row.
- ⑤ データレコード項目(任意項目): Points to the 'Data record item (optional item)' table, specifically the '項目名' column header.

The dialog box includes the following sections and fields:

- Format Information:** Format name (Output CSV Format), Target file (Batch request result), Format type (Header record none), CSV item count (1).
- User ID Automatic Setting:** Check for automatic setting of user ID. Options: Automatic setting (selected), Automatic setting not (unselected).
- Title Row:** Check for title row. Options: Set (selected), Set not (unselected).
- Data Record Item:** Table with columns: Item name, Item number, Fixed value. Rows include: 通知作成日 *1, 通知先情報_利用者番号 *1, 通知先情報_通知先名 *1, 通知先情報_金融機関コード *1, 通知先情報_金融機関名 *1, 通知先情報_支店コード *1, 通知先情報_支店名 *1, 通知先情報_口座種別 *1.
- Data Record Item (Optional Item):** Table with columns: Item name, Item number, Fixed value. Rows include: 項目名, 項目番号, 固定値.
- Footer:** Search, Error jump, Next error, Cancel, Save buttons.

※上記サンプル画面は「出力 CSV フォーマット詳細設定画面／一括請求結果」の画面です。

① CSV 項目数

CSV 項目数を設定してください。

(CSV 項目数の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)／CSV 項目数について**」をご参照ください。)

CSV項目数	100
--------	-----

② 利用者 ID の自動設定有無

利用者 ID の自動設定有無をラジオボタンより選択してください。

(利用者 ID の自動設定有無の詳細については「**5.4 出力 CSV フォーマットの利用者 ID の自動設定機能について**」をご参照ください。)

利用者IDの自動設定有無	
CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。	
通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する	☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない
義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する	☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない



利用者 ID の自動設定とは、一括請求結果ファイルや通知ファイルには含まれない情報である利用者 ID を、出力する CSV ファイルに設定したい場合に、本ソフトの社内口座管理または取引先管理に登録された情報より自動設定する機能です。

③ タイトル行有無

タイトル行有無をラジオボタンより選択してください。

(タイトル行有無の詳細については「**5.5 出力 CSV フォーマットのタイトル行有無について**」をご参照ください。)

タイトル行有無	
出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する	☐ 設定する ☒ 設定しない



ヘッダレコード無フォーマットの場合は、タイトル行有無を選択することができます。

「タイトル行有」を選択すると、出力 CSV ファイルの 1 行目にタイトル行 (項目名) を設定し、2 行目以降にレコードを設定します。

「タイトル行無」を選択すると、出力 CSV ファイルのタイトル行 (項目名) は設定されず、1 行目からレコードを設定します。

④ データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、出力 CSV ファイルの項目番号（出力位置）を設定してください。
なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（項目番号（出力位置）の詳細については「**5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について**」をご参照ください。）

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
通知作成日 *1	6	
通知先情報_利用者番号 *1	5	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	3	
通知先情報_金融機関名か *1	2	
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1	1	
通知先情報_口座種別 *1		



項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。
CSV 項目数が、項目番号（出力位置）の最大値に満たない場合は、CSV 項目数までカンマを付加して出力します。

⑤ データレコード項目(任意項目)

データレコード項目（任意項目）の項目名、項目番号（出力位置）、固定値を設定してください。
なお、項目番号（出力位置）には、CSV 項目数以下の数値を設定してください。

（固定値の詳細については「**5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について**」をご参照ください。）

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	8	固定値 1
追加項目 2	9	固定値 2

設定を修正・変更後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

出力CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: 〇〇出力フォーマット フォーマット形式: ヘッダレコード無

対象ファイル: 一括請求結果 CSV項目数: 100

利用者IDの自動設定有無

CSV出力の際、口座情報を条件に利用者IDを自動設定することができます。

通知先情報_利用者IDを社内口座管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

義務者情報_利用者ID、権利者情報_利用者IDを社内口座管理もしくは取引先管理より自動設定する ☐ 自動設定する ☒ 自動設定しない

タイトル行有無

出力CSVの1行目にタイトル行(項目名)を設定する ☐ 設定する ☒ 設定しない

出力CSV項目設定

各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
通知作成日 *1	6	
通知先情報_利用者番号 *1	5	
通知先情報_通知先名か *1	4	
通知先情報_金融機関コード *1	3	
通知先情報_金融機関名か *1	2	
通知先情報_支店コード *1		
通知先情報_支店名か *1	1	
通知先情報_口座種別 *1		

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。

項目名	項目番号	固定値
追加項目 1	7	固定値 1
追加項目 2	8	固定値 2

*1 CSV出力の際、全レコードに同一の値が設定されます。

検索 エラージャンプ

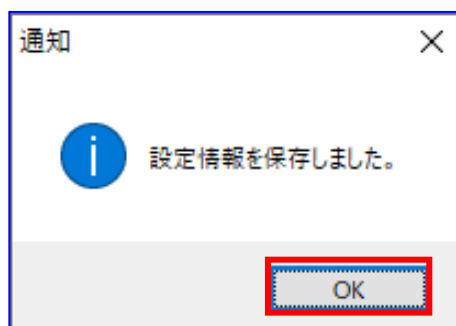
検索 次のエラー

キャンセル 保存

[保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。
以上で CSV フォーマットの修正が完了になります。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「**3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。)



3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定

出力 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する方法を説明します。

操作手順

3.3.1 出力 CSV フォーマッ トの使用フォーマ ットを設定する

操作方法

3.3.1 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する

システム設定画面を開き、使用フォーマットをプルダウンより選択し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない
☐ 一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)
全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 一括請求Assist標準 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

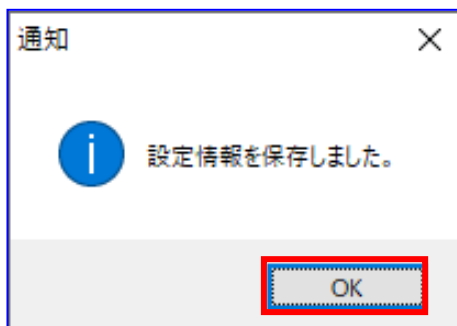
出力CSV設定

使用フォーマット 〇〇出力フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

☒ 一括請求結果ファイル ☐ 出力しない
☒ 通知ファイル ☐ 出力しない

キャンセル 保存

-
- ✚ [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示され、[OK]を押下します。
以上で使用フォーマットの設定が完了になります。



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成した際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、新規作成したフォーマット名が表示されていますが、本手順にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。

3.4 出力 CSV フォーマットの削除

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを削除する方法を説明します。

操作手順

3.4.1 出力 CSV フォーマット を削除する

操作方法

3.4.1 出力 CSV フォーマットを削除する

- 削除する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[削除]を押下します。
一括請求 Assist 標準フォーマット、配信 1 フォーマット、会計フォーマットは削除できません。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 ☒ 通常利用時 ☐ 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先 参照

☐ 座種別区分 ☒ 別段を利用する ☐ 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 ☐ 付与する ☒ 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 ☒ 表示する ☐ 表示しない

譲渡記録設定情報

保証連伴有無 ☐ 選択可(保証有り/無し) ☒ 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 ☒ 入力する ☐ 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 ☒ 出力する ☐ 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット 修正 削除 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

出力CSV設定

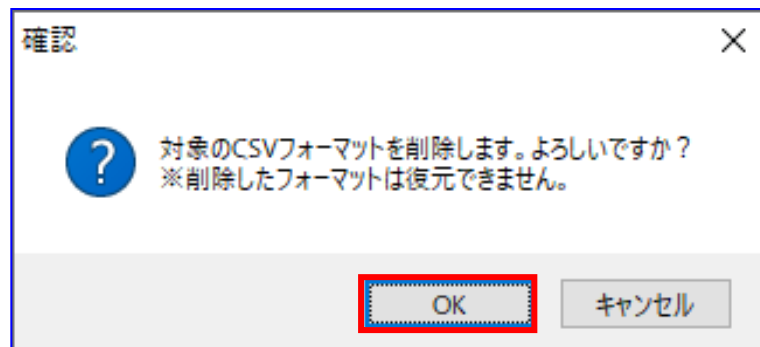
使用フォーマット 修正 **削除** 新規作成 ファイル読込 ファイル出力

一括請求結果ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

通知ファイル ☒ 出力する ☐ 出力しない

キャンセル 保存

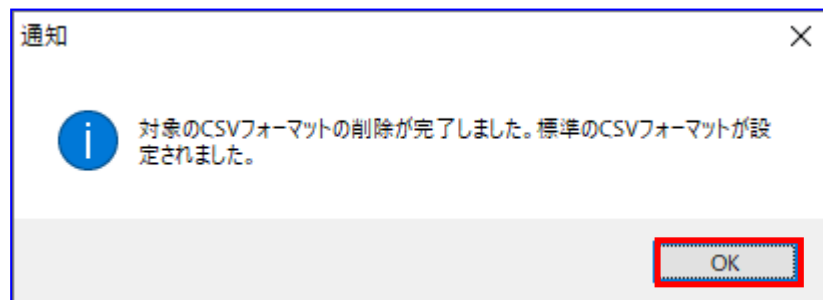
-
- ✚ [削除]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



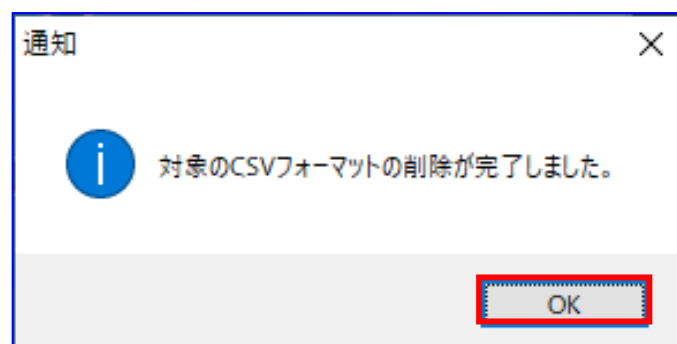
削除前にバックアップを取得するには、「**3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力**」をご参照ください。

- ✚ 正常に削除が完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。
使用フォーマットの設定により、表示されるダイアログが異なります。

- 使用フォーマットに設定した出力 CSV フォーマットを削除した場合



- 使用フォーマットに設定していない出力 CSV フォーマットを削除した場合



3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットをファイル出力する方法を説明します。

出力した CSV フォーマットファイルは、バックアップ用または他の PC にインストールされた本ソフトでご利用頂けます。

(任意フォーマットを含めた設定情報を一括移行する場合は、業務編「**8 設定情報の一括移行について**」をご参照ください。)

操作手順

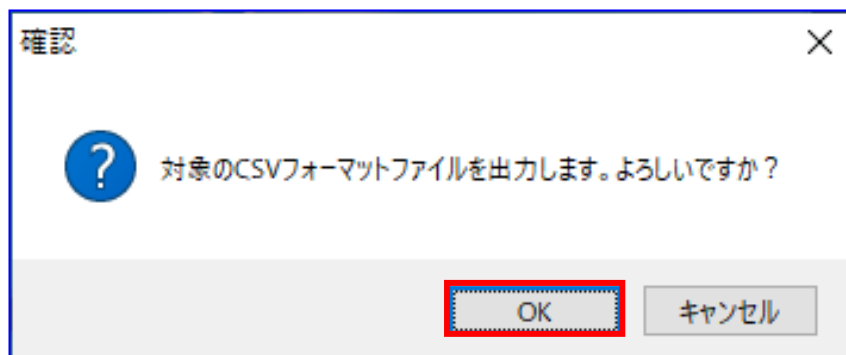
3.5.1 出力 CSV フォーマット ファイルを出力する

操作方法

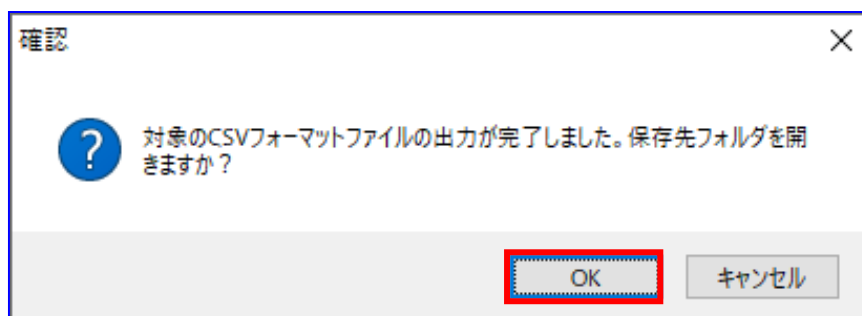
3.5.1 出力 CSV フォーマットファイルを出力する

- システム設定画面を開き、出力する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[ファイル出力]を押下します。
一括請求 Assist 標準フォーマット、配信 1 フォーマット、会計フォーマットは出力できません。

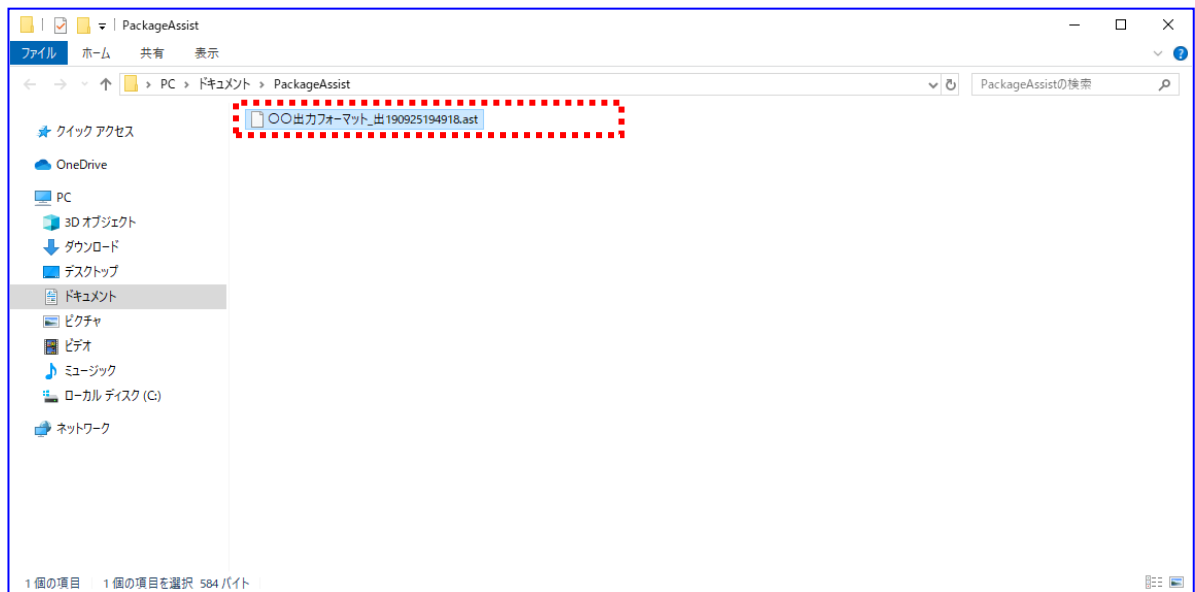
-
- ✚ [ファイル出力]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



- ✚ 正常に出力が完了すると、下記ダイアログが表示されます。
出力した CSV フォーマットファイルの保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



 表示された保存先フォルダに、ファイルが作成されていることをご確認ください。



CSV フォーマットファイルの出力時に作成されるファイルは下記の通りです。

CSV フォーマットファイル：フォーマット名_出 YYMMDDhhmmss.ast



出力したファイルは、CSV フォーマット情報のバックアップ用としてご利用ください。
出力したファイルを読み込むには、「**3.6 出力 CSV フォーマットのファイル読込**」
をご参照ください。

3.6 出力 CSV フォーマットのファイル読込

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットのファイル読込を行う方法を説明します。

「**3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力**」にて出力した CSV フォーマットファイルを本手順にて読込むことで、任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを追加することができます。

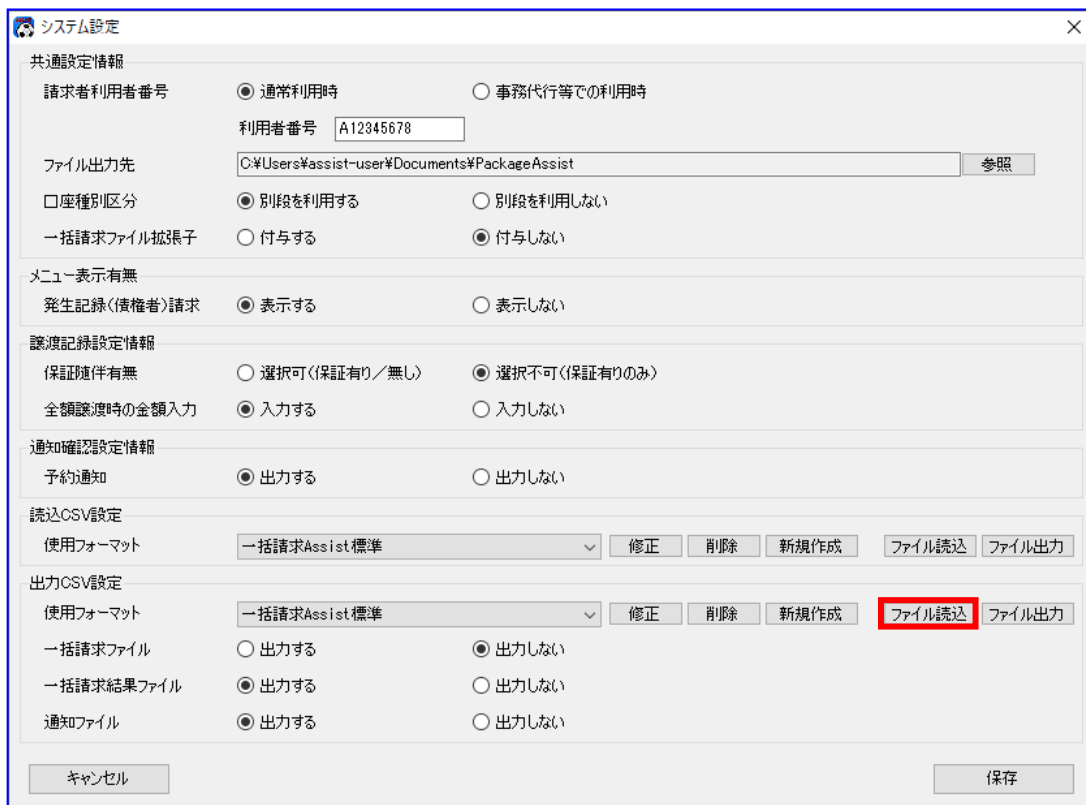
操作手順

3.6.1 出力 CSV フォーマット ファイルを読込む

操作方法

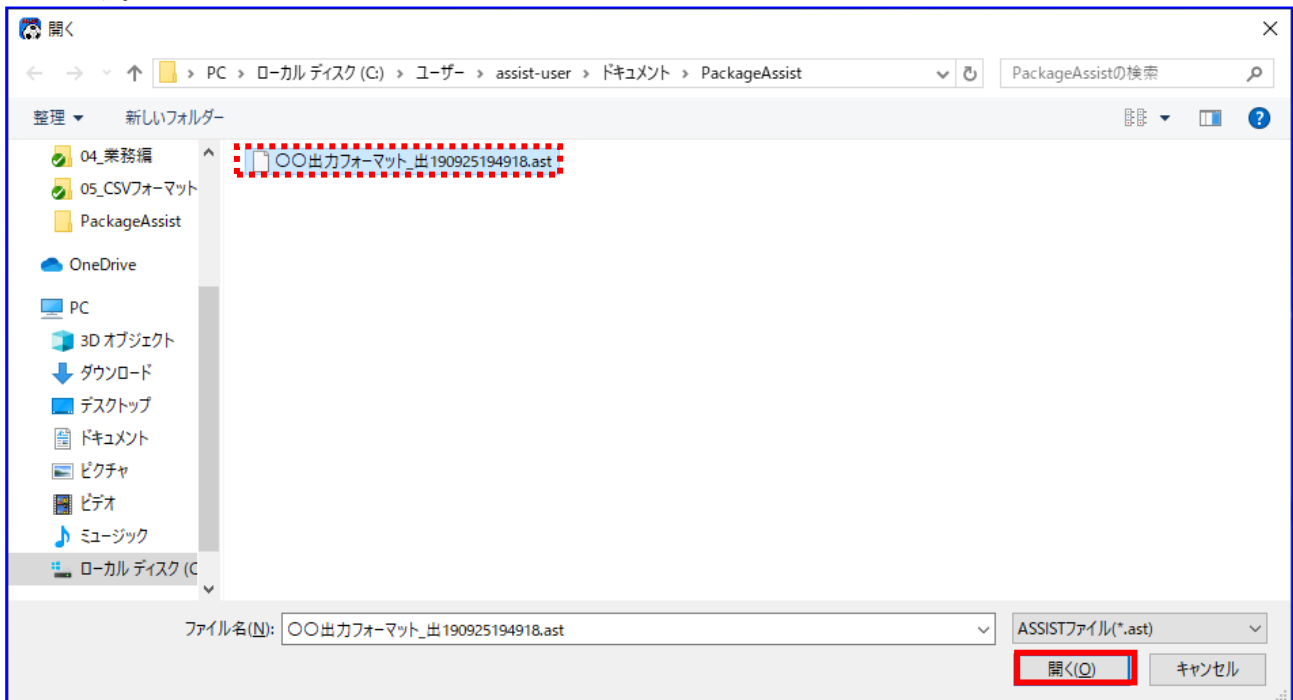
3.6.1 出力 CSV フォーマットファイルを読込む

 システム設定画面を開き、[ファイル読込]を押下します。

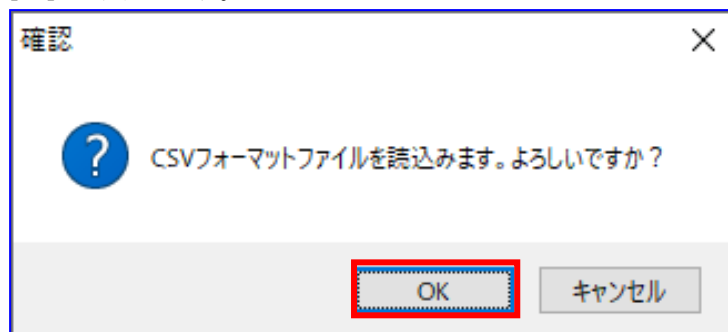


The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. The '読み込みCSV設定' (Load CSV Settings) section is expanded, showing the '使用フォーマット' (Use Format) dropdown set to '一括請求Assist標準' (Batch Request Assist Standard). The 'ファイル読込' (File Import) button is highlighted with a red rectangle. Other buttons like '修正' (Modify), '削除' (Delete), '新規作成' (New), and 'ファイル出力' (File Output) are also visible.

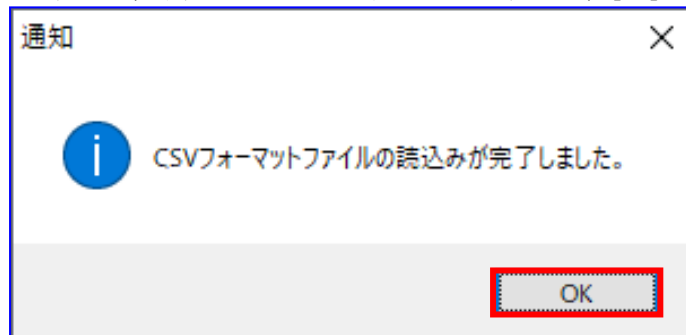
- ✚ [ファイル読込]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
- 「**3.5 出力 CSV フォーマットのファイル出力**」にて出力した対象ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✚ [開く]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
- よろしければ、[OK]を押下します。



- ✚ 正常に読込みが完了すると、下記ダイアログが表示されますので、[OK]を押下します。





使用フォーマットに読込んだフォーマット名が追加されます。

(読込んだフォーマットを修正する場合は「**3.2 出力 CSV フォーマットの修正**」をご参照ください。)



任意フォーマットの CSV フォーマットを読込んだ際、システム設定画面の使用フォーマットのプルダウンに、読込んだフォーマット名が表示されていますが、システム設定画面にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。

使用フォーマットの設定については

「**3.3 出力 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定**」をご参照ください。

4 補足事項(読込 CSV フォーマット設定)

4.1 読込 CSV フォーマットのフォーマット形式(ヘッダレコード有/ヘッダレコード無)について

本ソフトでは、任意フォーマットとして使用する場合、2種類の読込 CSV フォーマット形式を選択できます。

4.1.1 ヘッダレコード有フォーマット

ヘッダレコード有フォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、ヘッダ情報は各請求画面のヘッダ情報部に、データ情報は各請求画面のデータ情報部に反映されます。

発生記録(債務者)請求にてヘッダレコード有フォーマットを使用した場合の例を以下に示します。

■ 読込CSVファイル (ヘッダレコード有フォーマット)

ヘッダレコード	ヘッダ情報
	51,20160201,A00000001,シナワカフシキガイシャ,0000,001,2,1100000
データレコード	データ情報
	B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,20160301,0,REF.NO.000001
	B00000001,豊洲株式会社2,9999,001,2,1100002,9999999999,20160301,0,REF.NO.000002
	B00000001,豊洲株式会社3,9999,001,2,1100003,9999999999,20160301,0,REF.NO.000003

■ 請求作成画面

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 【CSV読込用サンプル】01.発生記録(債務者)請求用CSVファイル.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/01

債務者(請求者)情報

利用者番号* 呼出 A00000001 債務者 9000 支店コード* 001 □座種別* 2:当座 □座番号* 1100000

ヘッダ情報部

債務者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 全額振替コード*	債権者 支店コード*	債権者 □座種別*	債権者 □座番号
1	詳細	1 B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001
2	詳細	2 B00000002	豊洲株式会社 2	9999	001	2:当座	1110002
3	詳細	3 B00000003	豊洲株式会社 3	9999	001	2:当座	1110003

データ情報部

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 次エラー

合計件数(件) 3
合計金額(円) 2,999,999,997

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

4.1.2 ヘッダレコード無フォーマット

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを
読込む場合に使用するフォーマットです。

各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、ヘッダ情報は各請求画面のヘッダ情報部に、データ情報は各請求
画面のデータ情報部に反映されます。

発生記録(債務者)請求にてヘッダレコード無フォーマットを利用した場合の例を以下に示します。

■ 読込CSVファイル (ヘッダレコード無フォーマット)

ヘッダ情報	データ情報
20160201,A00000001,シナワカフシキガイシャ,0000,001,2,110 B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,20160301,0,REF.NO.000001	
20160201,A00000001,シナワカフシキガイシャ,0000,001,2,110 B00000001,豊洲株式会社2,9999,001,2,1100002,9999999999,20160301,0,REF.NO.000002	
20160201,A00000001,シナワカフシキガイシャ,0000,001,2,110 B00000001,豊洲株式会社3,9999,001,2,1100003,9999999999,20160301,0,REF.NO.000003	

データレコード

■ 請求作成画面

発生記録(債務者)請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 【CSV読込用サンプル】01.発生記録(債務者)請求用CSVファイル.csv

発生記録(予定)日* 2019/10/01

債務者(請求者)情報

利用者番号* 債務者名 支店コード* □座種別* □座番号*

呼出 A00000001 シナワカフシキガイシャ 0000 001 2:当座 1100000

ヘッダ情報部

債務者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債務者 利用者番号*	債務者名**	債務者 金融機関コード*	債務者 支店コード*	債務者 □座種別*	債務者 □座番号
1 詳細	1	B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001
2 詳細	2	B00000002	豊洲株式会社 2	9999	001	2:当座	1110002
3 詳細	3	B00000003	豊洲株式会社 3	9999	001	2:当座	1110003

データ情報部

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 次エラー

合計件数(件) 3
合計金額(円) 2,999,999,997

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成



フォーマット形式が「ヘッダレコード無」の場合、読込 CSV ファイルのヘッダ情報は
全レコード同一の値を設定してください。
同一の値でない場合、ヘッダ情報が特定できないため、読込むことができません。

4.2 読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)について

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、項目番号（読込位置）を設定することで、項目の読込順を自由に設定することができます。

各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、CSV フォーマットの項目番号（読込位置）の設定を基に、各項目をマッピングして読込みます。

発生記録(債務者)請求にて読込 CSV フォーマットの項目番号(読込位置)を設定した場合の例を以下に示します。

読込CSVファイル

```

001.A00000001.シカワアジサイ.0000.2.1110000
1      2      3      4      5      6 ヘッダレコード
1110001.2.001.9999.豊洲株式会社1.B00000001
1      2      3      4      5      6 データレコード
  
```

読込CSVフォーマット設定

読込CSV項目設定
ヘッダレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
種別コード		
発生記録(予定)日	2	
債務者情報_利用者番号	3	
債務者情報_債務者名	4	
債務者情報_金融機関コード	5	
債務者情報_支店コード	6	
債務者情報_口座種別		
債務者情報_口座番号		
債務者情報_利用者ID		

データレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
債務者情報_利用者番号	8	
債務者情報_債務者名	5	
債務者情報_金融機関コード	4	
債務者情報_支店コード	3	
債務者情報_口座種別	2	
債務者情報_口座番号	1	
債務者情報_利用者ID		
債権金額 (円)		
支払期日		
返済利率有無 *1		1: 有
依頼人Ref. No.		

CSV読込

■ヘッダレコード

読込CSVファイル

```

1 001
2 A00000001
3 シカワアジサイ
4 0000
5 2
6 1110000
  
```

CSVフォーマット設定

```

種類コード (なし)
発生記録(予定)日 (なし)
利用者番号 → A00000001
債務者名 → シカワアジサイ
金融機関コード → 0000
支店コード → 001
口座種別 → 2
口座番号 → 1110000
  
```

■データレコード

読込CSVファイル

```

1 1110001
2 2
3 001
4 9999
5 豊洲株式会社
6 B00000001
  
```

CSVフォーマット設定

```

利用者番号 → B00000001
債務者名 → 豊洲株式会社
金融機関コード → 9999
支店コード → 001
口座種別 → 2
口座番号 → 1110001
利用者ID (なし)
債権金額 (なし)
支払期日 (なし)
  
```

マッピング

発生記録(債務者)請求作成

CSV読込

総合振込データ読込

対象ファイル 【CSV読込用サンプル】 01.発生記録(債務者)請求用CSVファイル.csv

発生記録(予定)日* 2018/10/01

債務者(請求者)情報

呼出 A00000001 シカワアジサイ 0000 001 2: 当座 1110000

債務者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債務者利用者番号*	債務者名**	債務者金融機関コード*	債務者支店コード*	債務者口座種別*	債務者口座番号*
1	詳細	B00000001	豊洲株式会社	9999	001	2: 当座	1110001

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 1 合計金額(円) 999,999,999

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

一括請求ファイル作成

4.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、一部の項目に固定値を設定することができます。設定した固定値は、各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、一律初期値として設定されます。

発生記録(債務者)請求にて固定値を設定した場合の例を以下に示します。

読込CSVフォーマット設定

CSVファイル
CSV読込

記録(債務者)請求作成

発生記録(予定)日* 2019/10/01

債権者(請求者)情報

呼出 A00000001 ユーザー番号* 債権者名* 金融機関コード* 支店コード* 2

債権者(取引先)情報/債権情報

詳細	読込 No	債権者口座番号*	債権金額(円)*	支払期日*	譲渡制限有無*	依頼人Ref.No.
1 詳細	1 1110001	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000001
2 詳細	2 1110002	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000002
3 詳細	3 1110003	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000003
4 詳細	4 1110004	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000004
5 詳細	5 1110005	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000005
6 詳細	6 1110006	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000006
7 詳細	7 1110007	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000007
8 詳細	8 1110008	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000008
9 詳細	9 1110009	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000009
10 詳細	10 1110010	999,999,999	999,999,999	2019/11/01	1:有	REF.NO.0000010

行ジャンプ 検索 エラージャンプ 合計件数(件) 20 合計金額(円) 19,999,999,980

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

一括請求ファイル作成

項目名 項目番号 固定値

債権者情報_利用者番号	1	
債権者情報_債権者名	2	
債権者情報_金融機関コード	3	
債権者情報_支店コード	4	
債権者情報_口座種別	5	
債権者情報_口座番号	6	
債権者情報_利用者ID	7	
債権金額(円)	8	
支払期日	9	
譲渡制限有無 *1	10	1:有
依頼人Ref.No.	11	

各 CSV フォーマットにおいて固定値が設定可能である項目および設定値について、一覧を以下に示します。

No	フォーマット	固定値が設定可能である項目	設定値	備考
1	発生記録(債務者)請求用CSVフォーマット	譲渡制限有無	0:無 1:有	
2	発生記録(債権者)請求用CSVフォーマット	譲渡制限有無	0:無 1:有	
3	譲渡記録請求用CSVフォーマット	保証随伴有無	0:無 1:有	システム設定にて、保証随伴有無を「選択不可」に設定している場合は、「0:無」は設定できません。
4	譲渡記録請求(複数取引先)用CSVフォーマット	保証随伴有無	0:無 1:有	(保証随伴有無の設定変更については、基本操作編「2.17 システム設定画面」をご参照ください。)

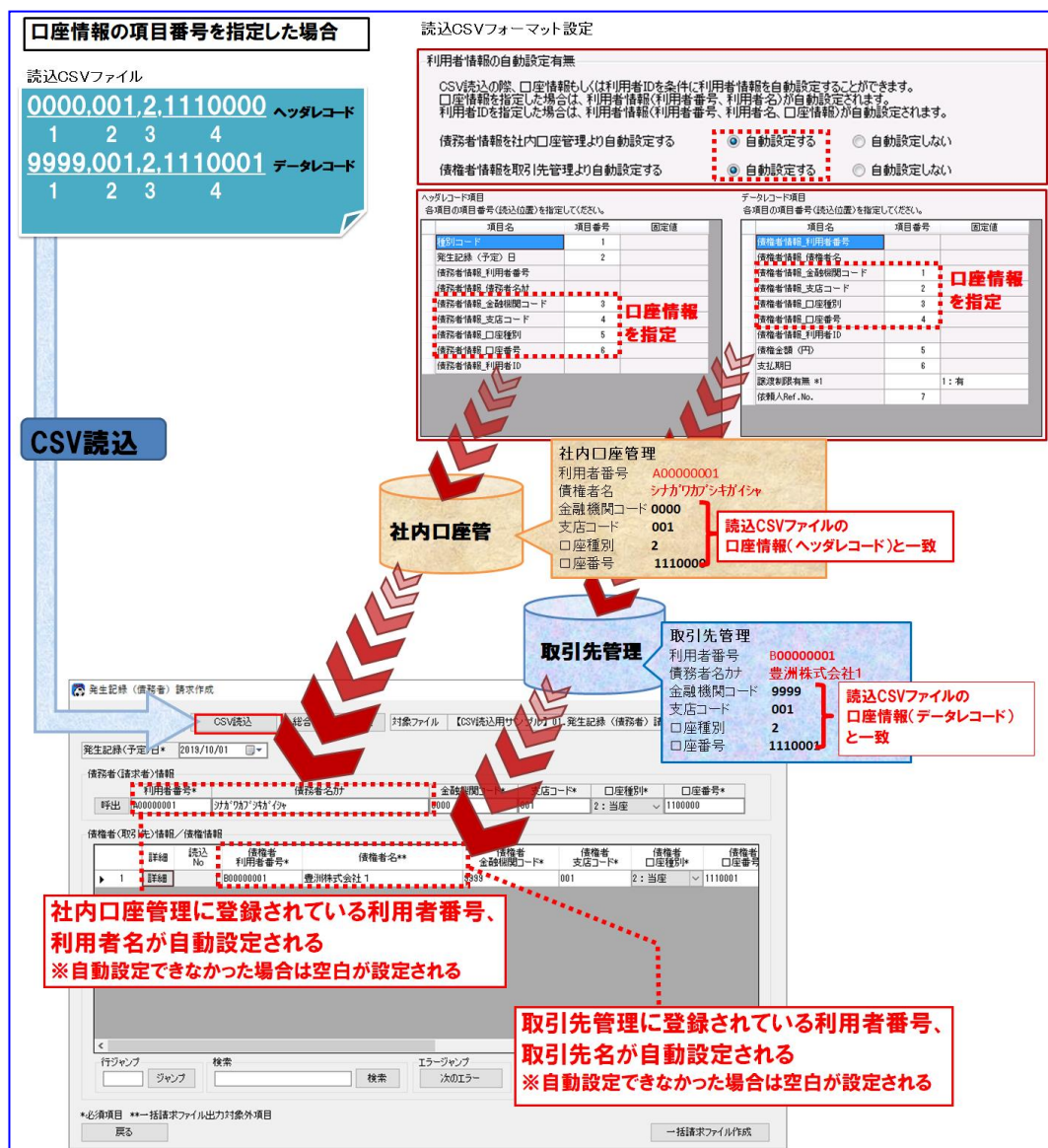
4.4 読込 CSV フォーマットの利用者情報の自動設定機能について

各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、CSV ファイルに設定された口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）もしくは利用者 ID を条件に、本ソフトの社内口座管理・取引先管理に登録した利用者情報を対応付けて（紐付けて）画面上に自動設定（上書き補完）することができます。

口座情報の項目番号を条件に指定した場合は、利用者情報（利用者番号、利用者名）が自動設定されます。利用者 ID の項目番号を条件に指定した場合は、利用者情報（利用者番号、利用者名、口座情報）が自動設定されます。

なお、社内口座管理・取引先管理に登録された情報より自動設定できなかった場合は、空白が設定されます。

発生記録(債務者)請求にて利用者情報の自動設定機能を利用した場合の例を以下に示します。



利用者情報の自動設定機能を利用する場合、項目番号は口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）か利用者 ID のいずれかのみ条件に指定することができます。



- ・口座情報の項目番号を指定した場合は、利用者 ID の項目番号入力欄は入力不可となります。

利用者 ID を指定するには、口座情報に入力した項目番号を削除してください。
利用者 ID の項目番号入力欄が入力可能となります。

- ・利用者 ID の項目番号を指定した場合は、口座情報の項目番号入力欄は入力不可となります。

口座情報を指定するには、利用者 ID に入力した項目番号を削除してください。
口座情報の項目番号入力欄が入力可能となります。



利用者 ID とは？

会計ソフトの CSV では、企業ごとに一意の ID を付与して口座情報等を管理している場合があります。本ソフトでは利用者 ID（社内口座 ID、取引先 ID）として、社内口座管理、取引先管理に設定することができ、利用者情報の自動設定機能の条件として利用できます。

（各請求画面上には表示されません。）

✚ 各 CSV フォーマットにおける自動設定の条件について、一覧を以下に示します。

No	画面		条件		自動設定される項目
1	発生記録 (債務者) 請求	債務者情報	社内口座管理	口座情報※	利用者番号 債務者名
				利用者ID	利用者番号 債務者名 口座情報※
		債権者情報	取引先管理	口座情報※	利用者番号 債権者名
				利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
2	発生記録 (債権者) 請求	債権者情報	社内口座管理	口座情報※	利用者番号 債権者名
				利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
		債務者情報	取引先管理	口座情報※	利用者番号 債務者名
				利用者ID	利用者番号 債務者名 口座情報※
3	譲渡記録請求	債権者情報	社内口座管理	口座情報※	利用者番号 債権者名
				利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
		譲渡先情報	取引先管理	口座情報※	利用者番号 譲渡先名
				利用者ID	利用者番号 譲渡先名 口座情報※
4	譲渡記録請求 (複数取引先)	債権者情報	社内口座管理	口座情報※	利用者番号 債権者名
				利用者ID	利用者番号 債権者名 口座情報※
		譲渡先情報	取引先管理	口座情報※	利用者番号 譲渡先名
				利用者ID	利用者番号 譲渡先名 口座情報※

※口座情報＝金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号

具体例① 読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて、口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)の項目番号を指定した場合

読込 CSV フォーマット詳細設定画面/発生記録(債務者)請求

ヘッダレコード項目 各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。			データレコード項目 各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。		
項目名	項目番号	固定値	項目名	項目番号	固定値
種別コード			債権者情報_利用者番号		
発生記録(予定)日			債権者情報_債権者名		
債務者情報_利用者番号			債権者情報_金融機関コード	3	
債務者情報_債務者名カ			債権者情報_支店コード	4	
債務者情報_金融機関コード	3		債権者情報_口座種別	5	
債務者情報_支店コード	4		債権者情報_口座番号	6	
債務者情報_口座種別	5		債権者情報_利用者ID		
債務者情報_口座番号	6		債権金額(円)		
債務者情報_利用者ID			支払期日		
			譲渡制限有無 *1		
			依頼人Ref.No.		

【条件①】読込 CSV ファイルの情報を以下に示します。

・ヘッダ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名カ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	0000	001	当座	1110000	(設定なし)

口座情報

・データ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名カ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	9999	001	当座	1110001	(設定なし)

口座情報

【条件②】本ソフトの社内口座管理の情報を以下に示します。

利用者名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	社内口座ID
品川株式会社 (シカワカブシキアイシャ)	A00000001	0000	001	当座	1110000	000000

口座情報

【条件③】本ソフトの取引先管理の情報を以下に示します。

取引先名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	取引先ID
豊洲株式会社 1	B00000001	9999	001	当座	1110001	111111

口座情報

- ・発生記録（債務者）請求作成画面にて【条件①】の CSV ファイルを CSV 読込した結果

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 【CSV読込用サンプル】 01.発生記録（債務者）請求用CSVファイル.csv

発生記録（予定）日* 2019/10/01

債務者（請求者）情報

呼出	利用者番号*	債務者名**	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
	A000000001	アガ'カ'ア'ア'イ'イ'	0000	001	2:当座	1100000

債権者（取引先）情報／債権情報

	詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号*
▶ 1	詳細		1*B000000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001

行ジャンプ 検索

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

【条件①】の読込 CSV ファイルのヘッダ情報の
口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）に一致する
【条件②】の社内口座管理情報（利用者番号、利用者名）が自動設定される

【条件①】の読込 CSV ファイルのデータ情報の
口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）に一致する
【条件③】の取引先管理情報（利用者番号、取引先名）が自動設定される

✚ 具体例② 読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて、利用者 ID の項目番号を指定した場合

読込 CSV フォーマット詳細設定画面／発生記録（債務者）請求

ヘッダレコード項目 各項目の項目番号<読込位置>を指定してください。			データレコード項目 各項目の項目番号<読込位置>を指定してください。		
項目名	項目番号	固定値	項目名	項目番号	固定値
種別コード			債権者情報_利用者番号		
発生記録（予定）日			債権者情報_債権者名		
債務者情報_利用者番号			債権者情報_金融機関コード		
債務者情報_債務者名カナ			債権者情報_支店コード		
債務者情報_金融機関コード			債権者情報_口座種別		
債務者情報_支店コード			債権者情報_口座番号		
債務者情報_口座種別			債権者情報_利用者ID	7	利用者ID
債務者情報_口座番号			債権金額（円）		
債務者情報_利用者ID	7	利用者ID	支払期日		
			譲渡制限有無 *1		
			依頼人Ref.No.		

【条件①】 読込 CSV ファイルの情報を以下に示します。

・ヘッダ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名カナ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	000000

利用者ID

・データ情報

1	2	3	4	5	6	7
利用者番号	債務者名カナ	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	利用者ID
(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	(設定なし)	111111

利用者ID

【条件②】 本ソフトの社内口座管理の情報を以下に示します。

利用者名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	社内口座ID
品川株式会社 (シカワカブシカイシャ)	A00000001	0000	001	当座	1110000	000000

利用者ID

【条件③】 本ソフトの取引先管理の情報を以下に示します。

取引先名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	取引先ID
豊洲株式会社 1	B00000001	9999	001	当座	1110001	111111

利用者ID

- ・発生記録（債務者）請求作成画面にて【条件①】の CSV ファイルを CSV 読込した結果

発生記録（債務者）請求作成

一括請求ファイル読込 CSV読込 総合振込データ読込 対象ファイル 【CSV読込用サンプル】 01.発生記録（債務者）請求用CSVファイル.csv

発生記録（予定）日* 2019/10/01

債務者（請求者）情報

呼出	利用者番号*	債務者名カ	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*
	A00000001	アカワダシカイト	0000	001	2:当座	1100000

債権者（取引先）情報／債権情報

詳細	読込 No	債権者 利用者番号*	債権者名**	債権者 金融機関コード*	債権者 支店コード*	債権者 口座種別*	債権者 口座番号*
1 詳細		1*B00000001	豊洲株式会社 1	9999	001	2:当座	1110001

行ジャンプ 検索

*必須項目 **一括請求ファイル出力対象外項目

戻る 一括請求ファイル作成

【条件①】の読込 CSV ファイルのヘッダ情報の利用者 ID に一致する

【条件②】の社内口座管理情報（利用者番号、利用者名、
口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号））が自動設定される

【条件①】の読込 CSV ファイルのデータ情報の利用者 ID に一致する

【条件③】の取引先管理情報（利用者番号、取引先名、
口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号））が自動設定される

4.5 読込 CSV フォーマットのタイトル行有無について

フォーマット形式が「ヘッダレコード無」である任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて、タイトル行有無の選択を行うことができます。

4.5.1 タイトル行有

各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、読込 CSV ファイルの 2 行目から読込みを開始します。

読込CSVファイル		
1行目	発生記録(予定)日,利用者番号,債務者名か,金融機関コード,支店コード,口座種別,口座番号,利用者番号,債務者名か,金融機関コード,支店コード,口座種別,口座番号	タイトル行
読込開始位置 → 2行目	20160201,A12345678,シナワカフシギイシ,0000,001,2,1100000,B000000001,豊洲株式会社,1.9999,001,2,1100001,9999999999,20160301,0,REF.NO.0000001	データレコード
3行目	20160201,A12345678,シナワカフシギイシ,0000,001,2,1100000,B000000001,1100002,9999999999,20160301,0,REF.NO.0000002	
4行目	20160201,A12345678,シナワカフシギイシ,0000,001,2,1100000,B000000001,1100003,9999999999,20160301,0,REF.NO.0000003	
5行目	20160201,A12345678,シナワカフシギイシ,0000,001,2,1100000,B000000001,1100004,9999999999,20160301,0,REF.NO.0000004	

4.5.2 タイトル行無

各請求作成画面にて CSV 読込を行う際、読込 CSV ファイルの 1 行目から読込みを開始します。

読込CSVファイル	
読込開始位置→1行目	20160201,A12345678,シナガワカフシキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社1,9999,001,2,1100001,9999999999,20160301,0,REF NO.000001
2行目	20160201,A12345678,シナガワカフシキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000002,1100002,9999999999,20160301,0,REF NO.000002
3行目	20160201,A12345678,シナガワカフシキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000003,1100003,9999999999,20160301,0,REF NO.000003
4行目	20160201,A12345678,シナガワカフシキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社4,9999,001,2,1100004,9999999999,20160301,0,REF NO.000004

読込対象

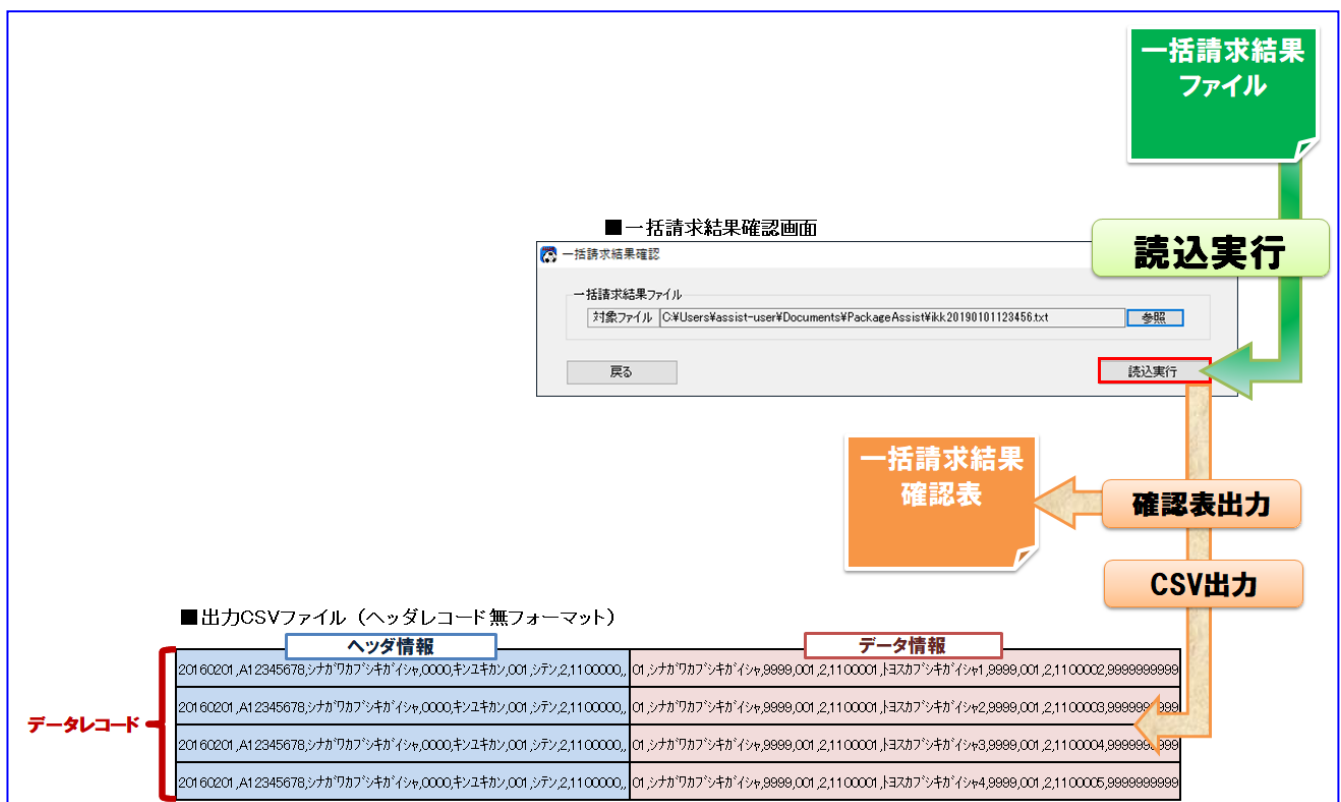
データレコード

5.1.2 ヘッダレコード無フォーマット

ヘッダレコード無フォーマットとは、すべての行にヘッダ情報とデータ情報が設定された CSV ファイルを出力する場合に使用するフォーマットです。

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、設定したフォーマット形式の CSV ファイルが出力されます。

一括請求結果にてヘッダレコード無フォーマットを利用した場合の例を以下に示します。



フォーマット形式が「ヘッダレコード無」の場合、出力 CSV ファイルのヘッダ情報には全レコードに同一の値が設定されます。

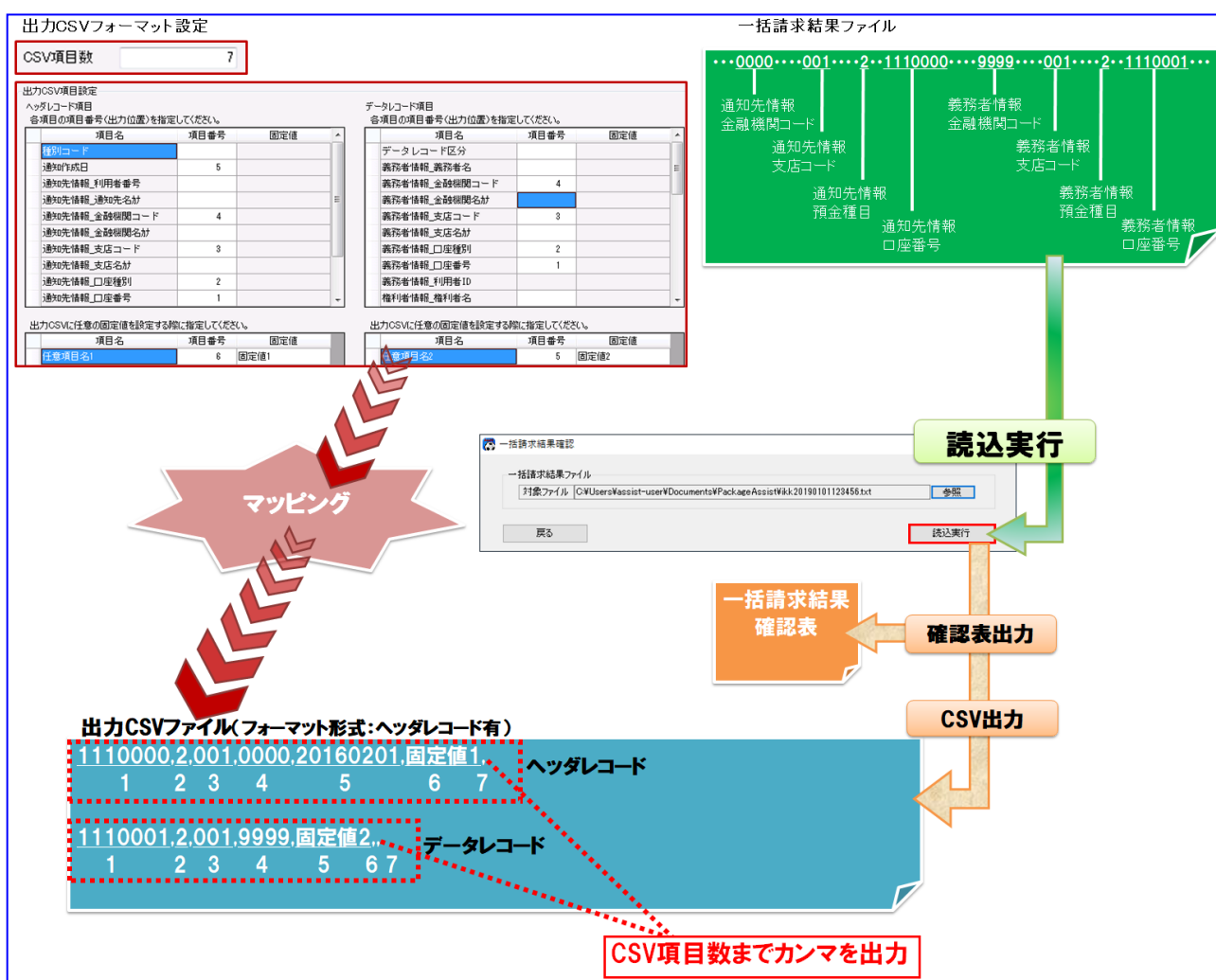
5.2 出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)/CSV 項目数について

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを使用する場合、項目番号（出力位置）および CSV 項目数を自由に設定することができます。

項目番号（出力位置）を設定することで、一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、各項目をマッピングして出力します。

CSV 項目数を設定することで、出力 CSV ファイルの各レコード末尾にカンマを付加して出力することができます。

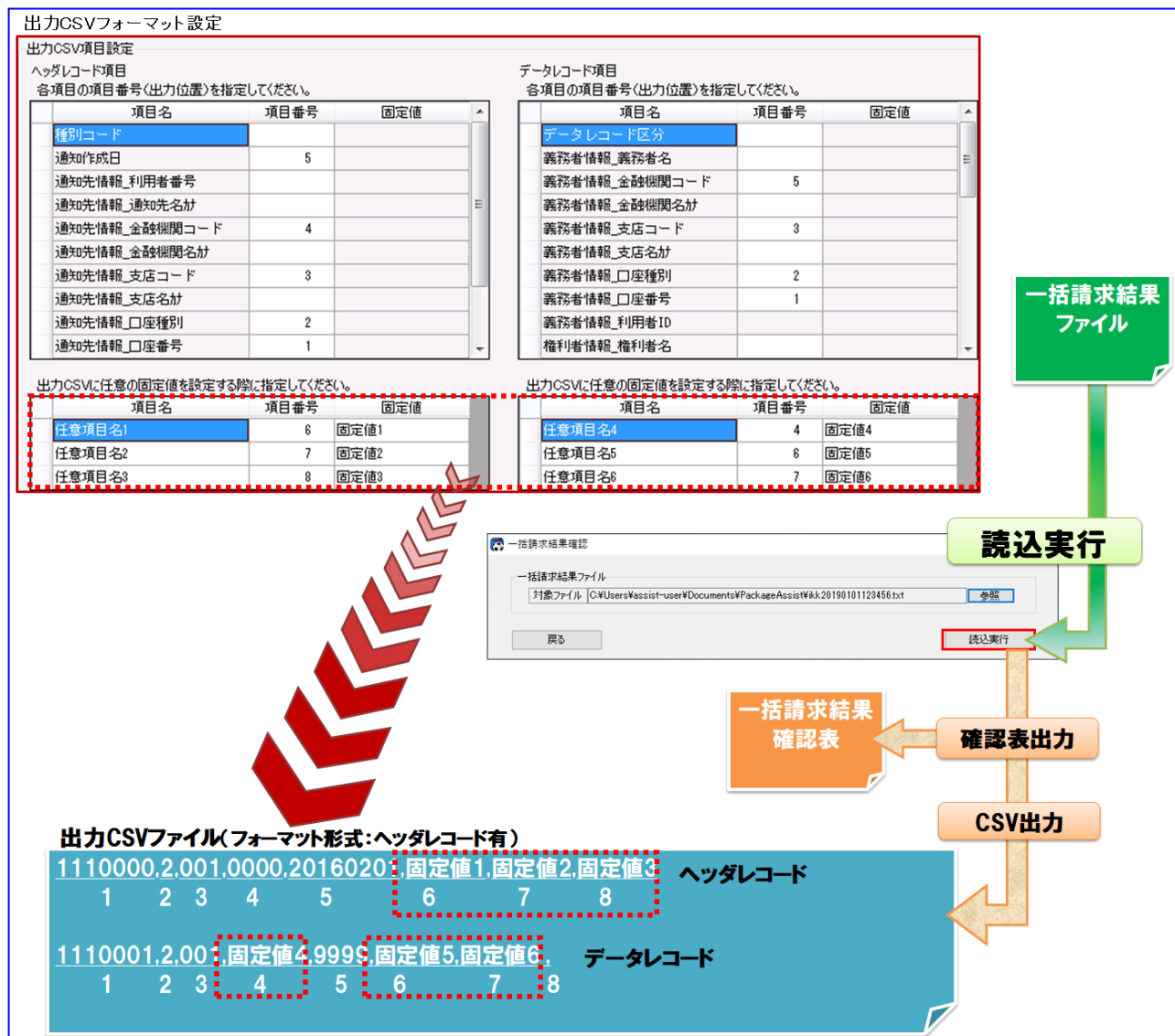
一括請求結果にて出力 CSV フォーマットの項目番号(出力位置)を設定した場合の例を以下に示します。



5.3 出力 CSV フォーマットの固定値設定機能について

任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを使用する場合、一括請求結果ファイルや通知ファイルに設定されない任意の固定値を設定することができます。

設定した固定値は、一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、出力された CSV ファイルの設定した項目番号（出力位置）に、一律設定されます。



一括請求結果にて固定値を設定した場合の例を以下に示します。



利用者 ID とは？

会計ソフトの CSV では、企業ごとに一意の ID を付与して口座情報等を管理している場合があります。本ソフトでは利用者 ID（社内口座 ID、取引先 ID）として、社内口座管理、取引先管理に設定することができます。

利用者 ID を社内口座管理、取引先管理に事前に設定しておくことで、CSV ファイル出力時に、条件が一致する利用者 ID を社内口座管理、取引先管理に登録された情報より自動設定することができます。

✚ 各 CSV フォーマットにおける自動設定の条件について、一覧を以下に示します。

No	読込ファイル		条件		自動設定される項目
1	一括請求結果	通知先情報	社内口座管理	口座情報※	通知先情報_利用者ID
		義務者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 ※1	口座情報※	義務者情報_利用者ID
		権利者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 ※1	口座情報※	権利者情報_利用者ID
2	通知	通知先情報	社内口座管理	口座情報※	通知先情報_利用者ID
		義務者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 ※2	口座情報※	義務者情報_利用者ID
		権利者情報	社内口座管理もしくは取引先管理 ※2	口座情報※	権利者情報_利用者ID

※口座情報＝金融機関コード、支店コード、口座種別、口座番号

※1 参考：読込ファイルが一括請求結果の場合の条件の詳細について、一覧を以下に示します。

No	データレコード区分	条件		
		通知先情報	義務者情報	権利者情報
1	01：発生（債務者請求方式）	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
2	02：発生予約（債務者請求方式）	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
3	03：発生（債権者請求方式）	社内口座管理	取引先管理	社内口座管理
4	04：発生予約（債権者請求方式）	社内口座管理	取引先管理	社内口座管理
5	05：譲渡	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
6	06：譲渡予約	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
7	07：分割譲渡	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理
8	08：分割譲渡予約	社内口座管理	社内口座管理	取引先管理

※2 参考：読込ファイルが通知の場合の条件の詳細について、一覧を以下に示します。

No	作成対象区分	条件		
		通知先情報	義務者情報	権利者情報
1	指定しない	社内口座管理	義務者情報＝通知先情報の場合 社内口座管理	権利者情報＝通知先情報の場合 社内口座管理
			義務者情報≠通知先情報の場合 取引先管理	権利者情報≠通知先情報の場合 取引先管理
2	受入債権一覧 （発生・譲渡による受入）	社内口座管理	取引先管理	社内口座管理

具体例 出力 CSV フォーマット詳細設定画面にて、利用者 ID の項目番号を指定した場合

出力 CSV フォーマット詳細設定画面／一括請求結果

ヘッダレコード項目 各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。				データレコード項目 各項目の項目番号(出力位置)を指定してください。			
項目名	項目番号	固定値		項目名	項目番号	固定値	
通知作成日	5			権利者情報_権利者名			
通知先情報_利用者番号				権利者情報_金融機関コード	1		
通知先情報_通知先名か				権利者情報_金融機関名か			
通知先情報_金融機関コード	4			権利者情報_支店コード	2		
通知先情報_金融機関名か				権利者情報_支店名か			
通知先情報_支店コード	3			権利者情報_口座種別	3		
通知先情報_支店名か				権利者情報_口座番号	4		
通知先情報_口座種別	2			権利者情報_利用者ID	6		利用者ID
通知先情報_口座番号	1			債権金額(円)			
通知先情報_利用者ID	7		利用者ID	支払期日			

出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。				出力CSVに任意の固定値を設定する際に指定してください。			
項目名	項目番号	固定値		項目名	項目番号	固定値	
任意項目名1	6	固定値1		任意項目名2	5	固定値2	

【条件①】一括請求結果ファイルの情報を以下に示します。

・通知先情報

金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
0000	001	当座	1110000

口座情報

・権利者情報

金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号
9999	001	当座	1110001

口座情報

【条件②】本ソフトの社内口座管理の情報を以下に示します。

利用者名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	社内口座ID
品川株式会社 (シカワカブシカイシャ)	A00000001	0000	001	当座	1110000	000000

口座情報

利用者ID

【条件③】本ソフトの取引先管理の情報を以下に示します。

取引先名	利用者番号	金融機関コード	支店コード	口座種別	口座番号	取引先ID
豊洲株式会社 1	B00000001	9999	001	当座	1110001	111111

口座情報

利用者ID

- 一括請求結果確認画面にて【条件①】の一括請求結果ファイルを読込実行した結果

- 出力 CSV ファイル

1	2	3	4	5	6	7
通知先情報 _口座番号	通知先情報 _口座種別	通知先情報 _支店コード	通知先情報 _金融機関コード	通知先情報 _通知作成日	任意項目名1	通知先情報 _利用者ID
1110000	当座	001	0000	20160201	(設定なし)	000000

1	2	3	4	5	6
権利者情報 _金融機関コード	権利者情報 _支店コード	権利者情報 _口座種別	権利者情報 _口座番号	任意項目名2	権利者情報 _利用者ID
9999	001	当座	1110001	固定値2	111111

【条件①】の一括請求結果ファイルの通知先情報の
口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する
【条件②】の社内口座管理情報(社内口座ID)が自動設定される

【条件①】の一括請求結果ファイルの権利者情報の
口座情報(金融機関コード/支店コード/口座種別/口座番号)に一致する
【条件③】の取引先管理情報(取引先ID)が自動設定される

5.5 出力 CSV フォーマットのタイトル行有無について

フォーマット形式が「ヘッダレコード無」である任意フォーマットの出力 CSV フォーマットを使用する場合、出力 CSV フォーマット詳細設定画面にて、タイトル行有無の選択を行うことができます。

5.5.1 タイトル行有

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、出力 CSV ファイルの 1 行目にタイトル行（項目名）を設定し、2 行目以降にデータレコードを設定します。

出力CSVファイル	
1行目	通知作成日_通知先情報_利用者番号_通知先情報_通知先名カナ_通知先情報_金融機関コード_通知先情報_金融機関名カナ_通知先情報_支店名コード_通知先情報_支店カナ
2行目	20160201,A12345678,シナカワカフシキガイシャ,0000,キヌキカン,001,シテン,2,1100000,01,シナカワカフシキガイシャ,9999,001,2,1100001,トヨスカフシキガイシャ,1,9999,001,2,1100002
3行目	20160201,A12345678,シナカワカフシキガイシャ,0000,キヌキカン,001,シテン,2,1100000,01,シナカワカフシキガイシャ,9999,001,2,1100001,トヨスカフシキガイシャ,2,9999,001,2,1100003
4行目	20160201,A12345678,シナカワカフシキガイシャ,0000,キヌキカン,001,シテン,2,1100000,01,シナカワカフシキガイシャ,9999,001,2,1100001,トヨスカフシキガイシャ,3,9999,001,2,1100004
5行目	20160201,A12345678,シナカワカフシキガイシャ,0000,キヌキカン,001,シテン,2,1100000,01,シナカワカフシキガイシャ,9999,001,2,1100001,トヨスカフシキガイシャ,4,9999,001,2,1100005

タイトル行
(項目名)

データレコード

5.5.2 タイトル行無

一括請求結果確認画面または通知確認画面にて CSV 出力を行う際、出力 CSV ファイルの 1 行目からデータレコードを設定します。

出力CSVファイル	
1行目	20160201,A12345678,シナワカツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社 1,9999,001,2,1100001,9999999999,20160301,0,REF.NO.000001
2行目	20160201,A12345678,シナワカツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社 2,9999,001,2,1100002,9999999999,20160301,0,REF.NO.000002
3行目	20160201,A12345678,シナワカツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社 3,9999,001,2,1100003,9999999999,20160301,0,REF.NO.000003
4行目	20160201,A12345678,シナワカツキガイシャ,0000,001,2,1100000,B00000001,豊洲株式会社 4,9999,001,2,1100004,9999999999,20160301,0,REF.NO.000004

}データレコード

一括請求 Assist® Ver.3 操作マニュアル

CSV フォーマット設定編

2023 年 1 月 4 日 第 3.4 版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部（ソフトウェアおよびプログラムを含む）は、でんさいネット（全国銀行協会が提供する電子債権記録機関）を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作権および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-